資料3

2019（令和元）年度

吉野町　住民アンケート調査

報　告　書

2020（令和2）年1月

目 次

Ⅰ. 調査の概要 ……1
1. 調査目的……1
2. 調査内容……1
3. 調査方法……1
4. 調査対象者の抽出 ……1
5. 調査期間……2
6. 回収結果……2
7. 地区・地域名の対応……2
8. 留意点……2

Ⅱ. サンプル（調査回答者）の属性……3
1. 性別 ……3
2. 年齢 ……3
3. 職業 ……4
4. 居住地……4
5. 健康状況……5
6. 世帯構成……5
7. 現在養育中の子どもの有無……6
7．1 子どもの有無……6
7．2 子どもの人数と年齢……6
8. 65歳以上の同居家族の有無……7
9. 自家用車の利用状況……8
10. スマイルバスの利用状況 ……8
11. お住まいの経緯……9
12. 居住年数……9
13. 住み心地……10
14. 定住意向……10

Ⅲ. 回答結果の分析（全体集計・属性別集計） …… 11
1. 満足度……11
2. 重要度……12
3. 重要度×満足度 ……13
4. 意識・行動 ……16

4.1 地域コミュニティの分野…… 16
4.2 情報ネットワーク環境の分野 …… 22
4.3 健康・福祉の分野…… 26
4.4 歴史・文化の分野…… 30

Ⅳ. 自由記述 …… 36
1. 全体 ……36

Ⅴ. 調査票…… 37

Ⅰ. 調査の概要

1. 調査目的

「第5次吉野町総合計画」の策定にあたり、町民のまちづくりに対する意見を収集し、今後の施策展開に反映することを目的として実施しました。

2. 調査内容

下記の設問で調査を実施しました。

設問	項目	内容
問1	回答者の属性	・ 性別 ・ 年齢 ・ 職業 ・ お住まい ・ 現在の健康状況 ・ 家族構成 ・ 子どもの有無 ・ 子どもの人数と年齢 ・ 65 歳以上の同居家族の有無 ・ 自家用車の利用状況 ・ スマイルバスの利用状況 ・ お住まいの経緯 ・ 居住年数 ・ 住み心地 ・ 定住意向
問2	満足度	・ 現在の吉野町の状況
問3	重要度	・ 今後、吉野町が重点的に取り組むべき事項
問4	意識・行動	・ 「地域コミュニティ」「情報ネットワーク環境」「健康・福祉」「歴史・文化」に関する意識や行動
―	自由記述	・ 今後、吉野町がめざすべき将来像やまちのあり方に対するご意見

3. 調査方法

調査方法は下記のとおりです。

項目	内容
調査地域	吉野町全域（上市地区、吉野地区、中荘地区、国栖地区、中竜門地区、龍門地区）
調査対象	吉野町に在住する満18歳以上の住民
標本数	2,000件
回収方法	郵送
調査票	本報告書の「Ⅴ.調査票」を使用

4. 調査対象者の抽出

調査対象者は下記の方法で抽出しました。

項目	内容
母集団	吉野町に在住する満18歳以上の住民
抽出法	無作為抽出法

5. 調査期間

アンケートの調査時期は、令和元年9月7日（土）～9月27日（金）です。

6. 回収結果

2,000サンプルを抽出発送し、有効回収数は911件（回収率45.5%）です。

7. 地区・地域名の対応

回答者の属性に関する設問で設定しているお住まいの地区と各地域名の対応は以下のとおりです。

【参考】地区・地域名対応一覧

地区	該当地域名
上市地区	上市、立野
吉野地区	吉野山、左曽、六田、橋屋、丹治、飯貝
中荘地区	楢井、御園、喜佐谷、宮滝、菜摘、樫尾、矢治
国栖地区	南大野、窪垣内、新子、国栖、南国栖、入野
中竜門地区	色生、三茶屋、小名、柳、香束
龍門地区	山口、平尾、佐々羅、西谷、三津、滝畑、千股、志賀、峰寺、河原屋、津風呂

8. 留意点

①集計について

比率は、すべて百分率（%）で表示し、小数点第2位以下を四捨五入して算出しています。このため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。

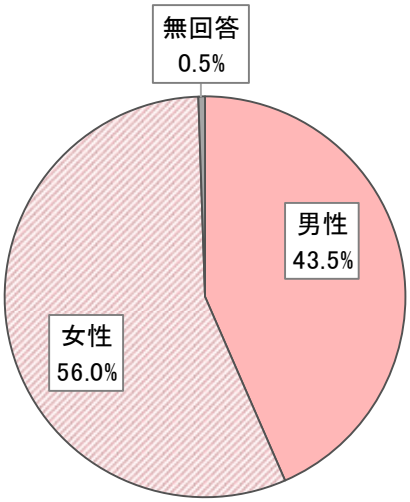
②各設問の分母（サンプル数）

サンプル数の記載がない図表の分母は有効回答数（n=911）です。また、回答者が限定される場合は、ラベルの下あるいは図表の右下に分母を掲載しています。

Ⅱ．サンプル（調査回答者）の属性

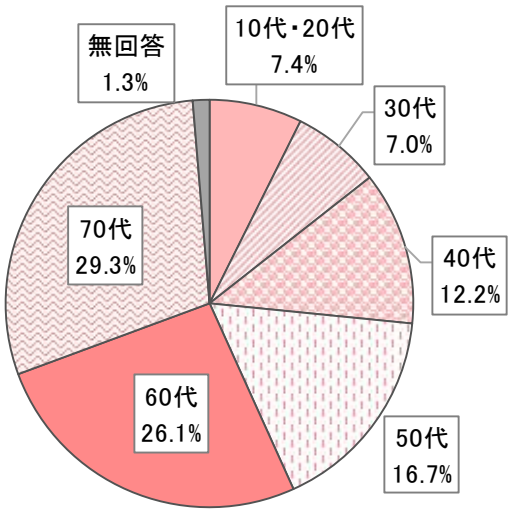
1．性別

回答者の性別は、「男性」は43.5%、「女性」は56.0%となっており、女性の割合が高くなっています。



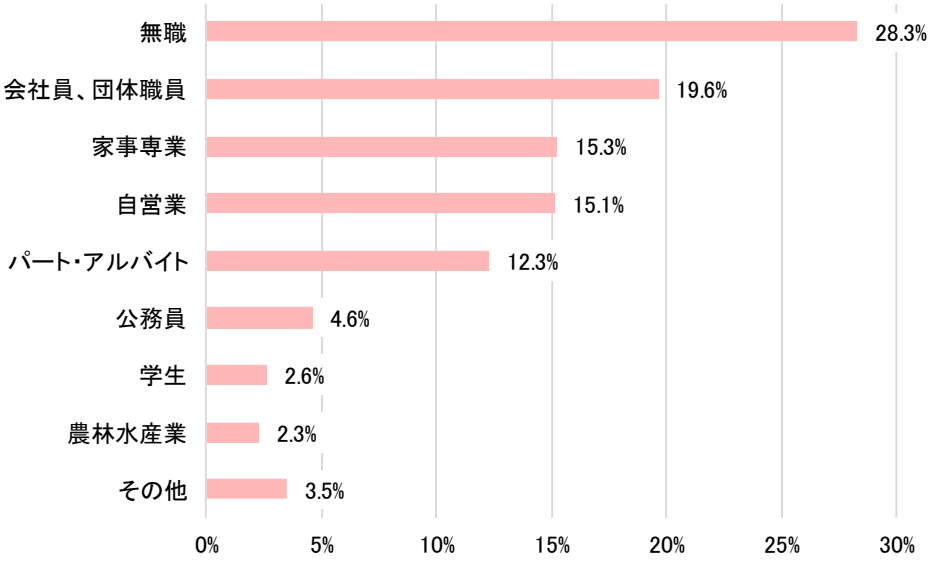
2．年齢

回答者の年齢は、「70代以上」の割合が29.3%と最も高く、次いで「60代」が26.1%、「50代」が16.7%となっています。



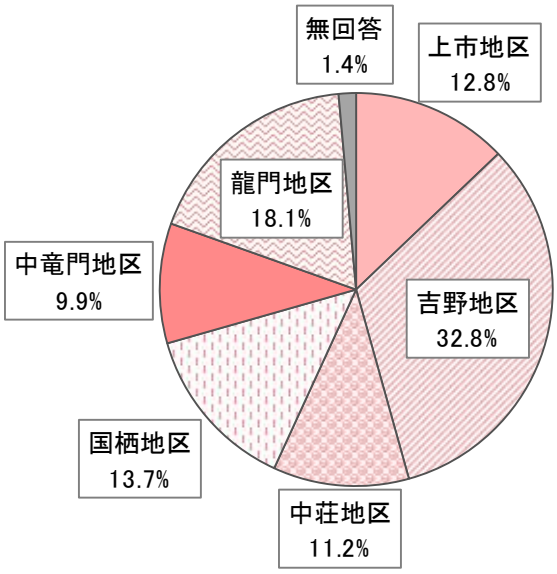
3. 職業

回答者の職業は、「無職」の割合が 28.3%と最も高く、次いで「会社員、団体職員」が 19.6%、「家事専業」が 15.3%となっています。



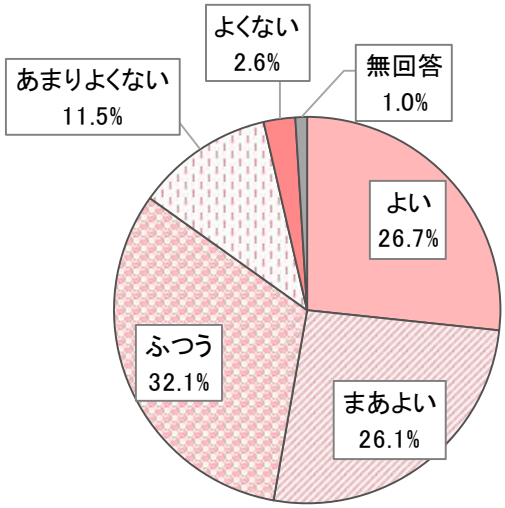
4. 居住地

回答者の居住地は、「吉野地区」の割合が 32.8%と最も高く、次いで「龍門地区」が 18.1%、「国栖地区」が 13.7%となっています。



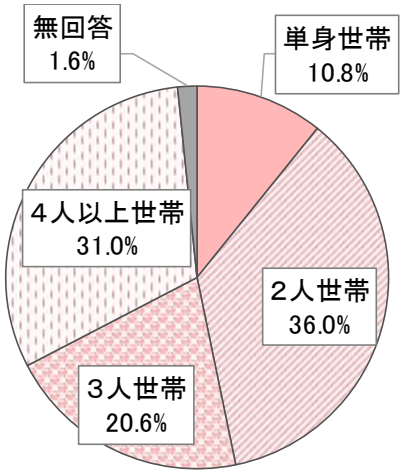
5. 健康状況

回答者の健康状況は、「よい」(「よい」と「まあよい」の合計)の割合が52.8%%となっており、全体の約半数を占めています。



6. 世帯構成

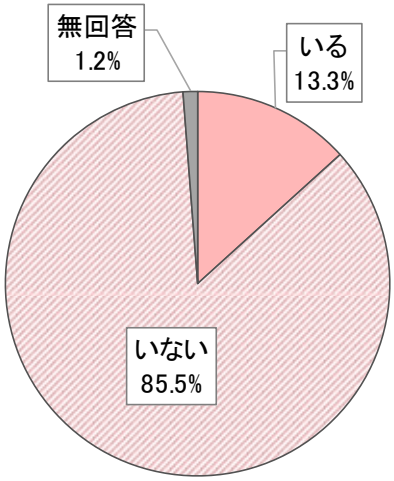
回答者の世帯構成は、「2人世帯」の割合が36.0%と最も高く、次いで「4人以上世帯」が31.0%、「3人世帯」が20.6%となっています。単身世帯は10.8%と最も低くなっています。



7. 現在養育中の子どもの有無

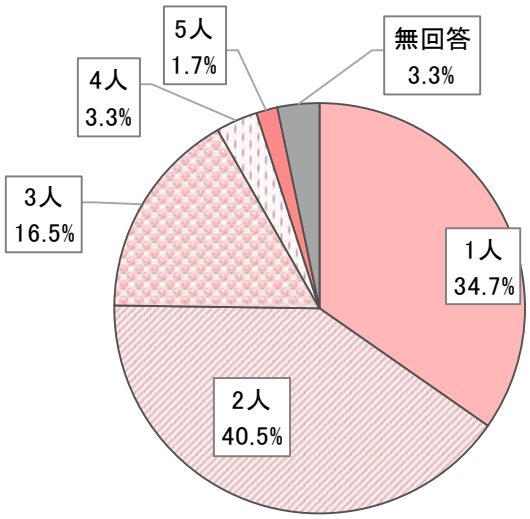
7. 1　子どもの有無

回答者の現在、養育中の子どもの有無は、「いない」が85.5%であり、全体の8割以上を占めています。



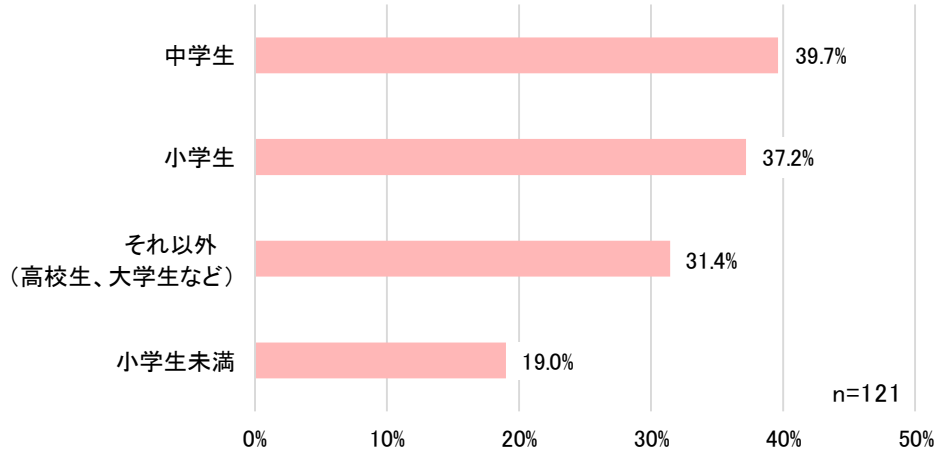
7. 2　子どもの人数と年齢

養育中の子どもが「いる」と回答した方を対象とし、子どもの人数を尋ねた結果、養育中の子どもの人数は「2人」が40.5%と最も高くなっています。次いで「1人」が34.7%、「3人」が16.5%となっています。



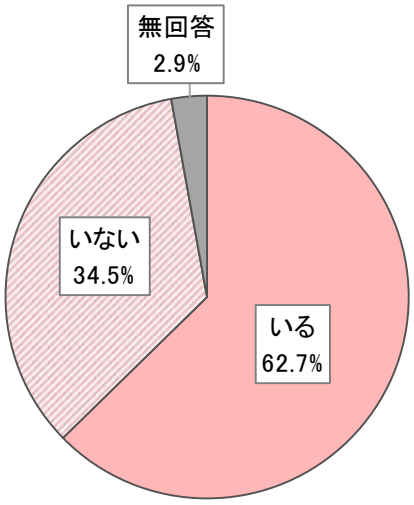
n=121

養育中の子どもが「いる」と回答した方を対象とし、子どもの年齢を尋ねた結果、「中学生」の子どもがいる方が39.7%、「小学生」の子どもがいる方が37.2%などとなっています。



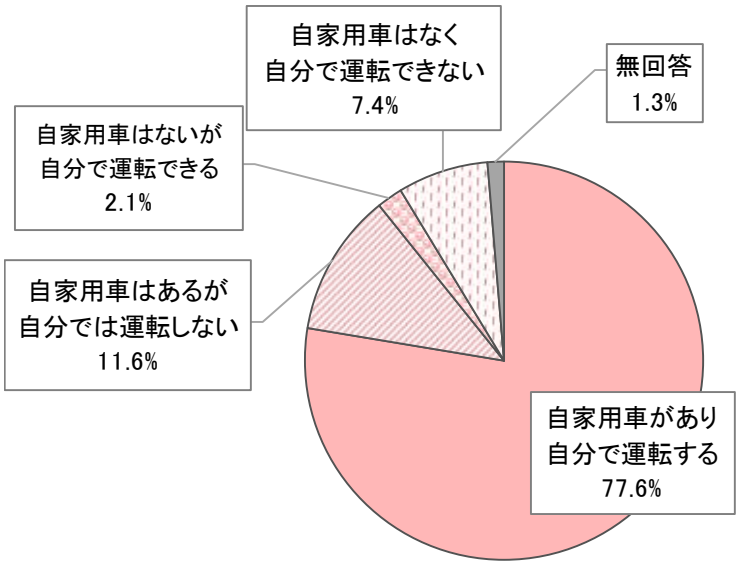
8. 65歳以上の同居家族の有無

回答者の65歳以上の同居家族の有無は、「いる」が62.7%となっており、全体の約6割を占めています。



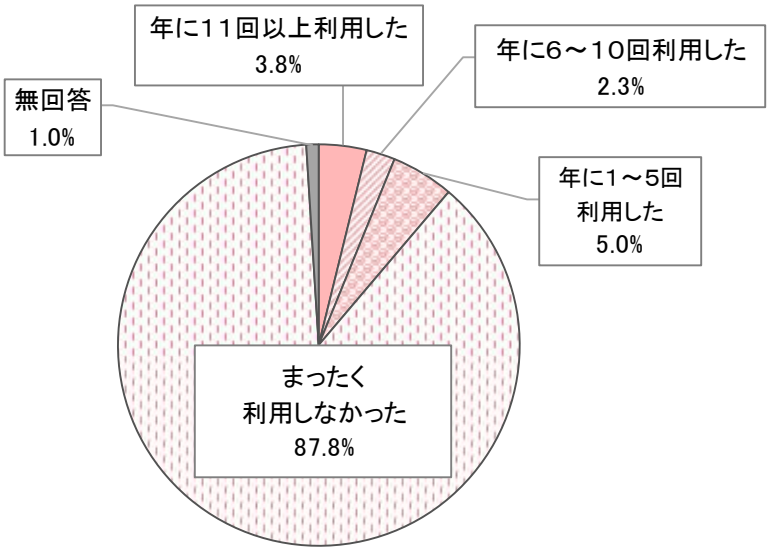
9. 自家用車の利用状況

回答者の自家用車の利用状況は、「自家用車があり自分で運転する」が77.6%と最も高く、全体の約8割を占めています。



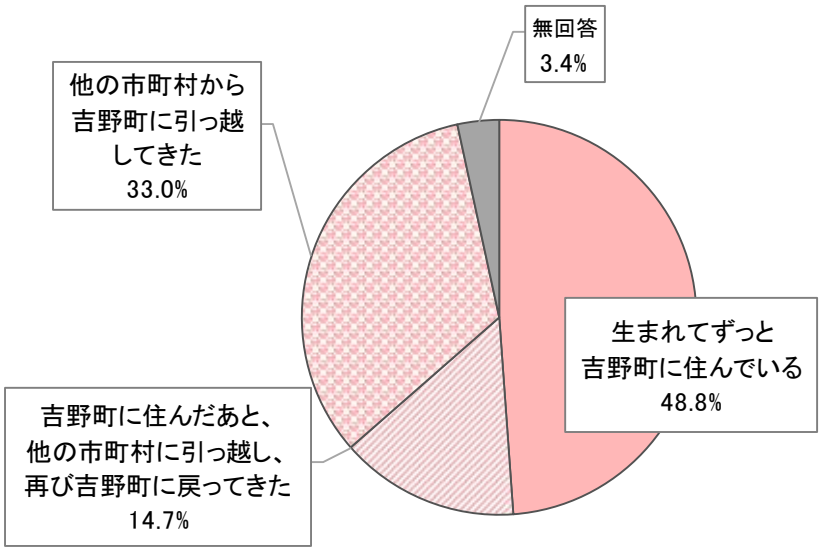
10. スマイルバスの利用状況

回答者のスマイルバスの利用状況は「まったく利用しなかった」が87.8%と最も高く、全体の約9割を占めています。また、「年に1～5回利用した」が5.0%、「年に11回以上利用した」が3.8%となっています。



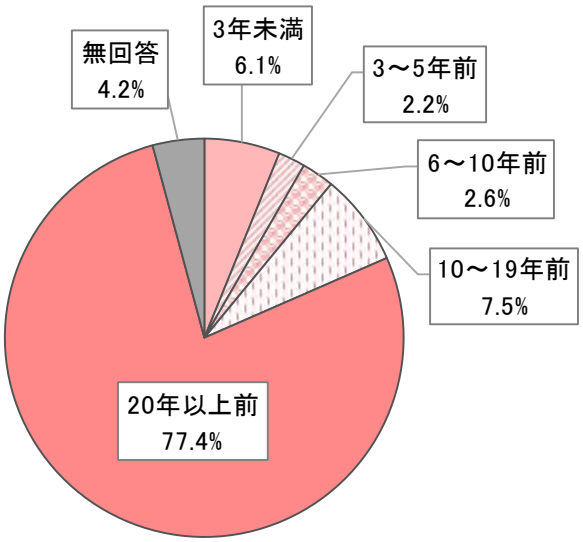
11. お住まいの経緯

回答者の吉野町に居住した経緯は、「生まれてずっと吉野町に住んでいる」が48.8%と最も高く、全体の約半数を占めています。次いで「他の市町村から吉野町に引っ越してきた」は33.0%、「吉野町に住んだあと、他の市町村に引っ越し、再び吉野町に戻ってきた」は14.7%となっています。



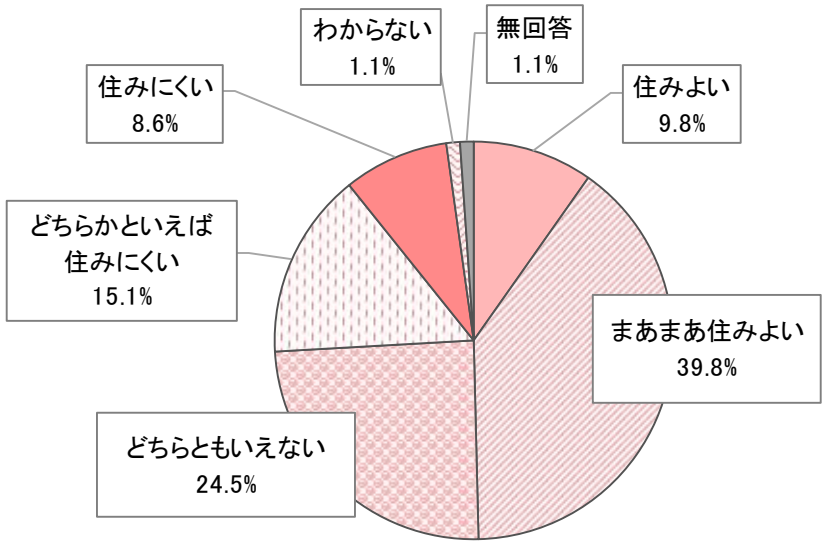
12. 居住年数

回答者の居住年数は、「20年以上前」が77.4%と最も高く、全体の約8割を占めています。また、「10～19年前」が7.5%、「3年未満」が6.1%となっています。



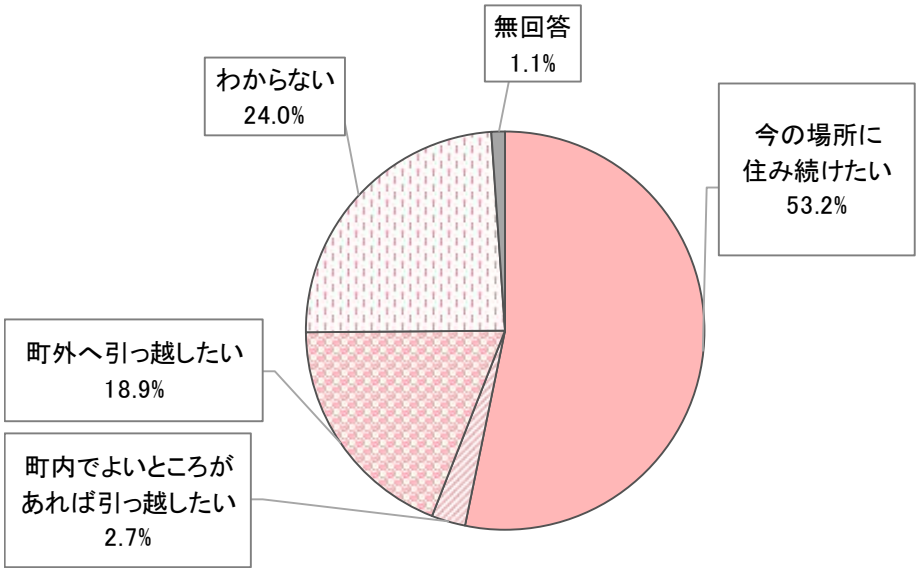
13. 住み心地

回答者の吉野町に感じている住み心地は、「住み良い」(「住みよい」と「まあまあ住みよい」の合計)が49.6%となっており、全体の約半数を占めています。



14. 定住意向

回答者の定住意向は、「住み続けたい」(「今の場所に住み続けたい」と「町内でよいところがあれば引っ越したい」の合計)が55.9%となっており、全体の約6割を占めています、



Ⅲ. 回答結果の分析（全体集計・属性別集計）

1. 満足度

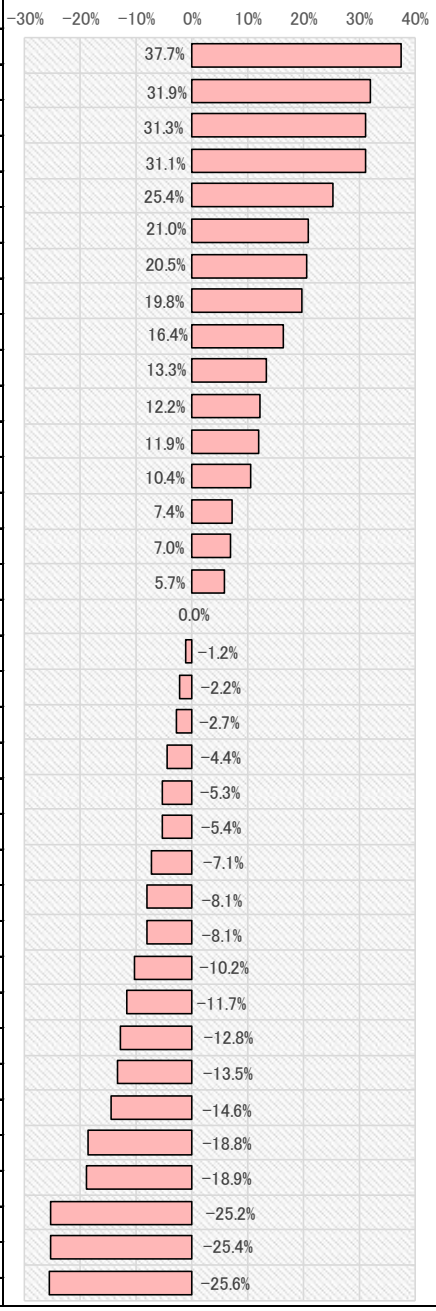
＜今の吉野町の状況に対する満足度＞

問2　次のア～ヤの36の項目ごとに、「今の吉野町の状況」としてあてはまる番号1か所に「○」をつけてください。

① 全体集計

回答者の中で、「今の吉野町の状況」として満足度が最も高かった項目は、「世界遺産・歴史文化の保全と活用」で37.7%です。次いで、「消防・救急体制の充実」が31.9%、「人権が尊重されるまちづくり」が31.3%となっています。

順位	項目No.	項目名	満足度
1	7	世界遺産・歴史文化の保全と活用	37.7%
2	25	消防・救急体制の充実	31.9%
3	8	人権が尊重されるまちづくり	31.3%
4	17	廃棄物の適正な処理	31.1%
5	9	健康づくり事業の充実	25.4%
6	10	高齢者等の生きがい・健康づくりの推進	21.0%
7	26	交通安全・防犯対策の推進	20.5%
8	6	社会体育と生涯スポーツの推進	19.8%
9	24	地域防災力の向上	16.4%
10	16	自然環境の保全・保護	13.3%
11	3	学校教育の充実	12.2%
12	5	社会教育と生涯学習の推進	11.9%
13	21	木材関連産業の振興	10.4%
14	2	子育て支援の充実	7.4%
15	28	安全で快適な上下水道の整備	7.0%
16	22	魅力あふれる観光の振興	5.7%
17	1	子育て環境の整備	0.0%
18	23	地域間交流と定住の促進	−1.2%
19	27	安全で快適な道路・河川の整備	−2.2%
20	4	地域ぐるみでの青少年の健全育成	−2.7%
21	19	農林漁業の振興	−4.4%
22	33	住民参加と開かれた町政の推進	−5.3%
23	32	協働のまちづくりの推進	−5.4%
24	12	高齢者福祉の充実	−7.1%
25	15	社会保障制度の円滑な運営	−8.1%
25	18	低炭素社会の実現への取り組み	−8.1%
27	14	地域福祉活動の充実	−10.2%
28	20	商工業の振興	−11.7%
29	34	財政健全化と行財政改革の推進	−12.8%
30	13	障がい者福祉の充実	−13.5%
31	35	職員の人財育成	−14.6%
32	30	安全で快適な居住環境の整備	−18.8%
33	36	住民目線の行政経営とマネジメント体制の構築	−18.9%
34	11	地域医療の充実	−25.2%
35	31	地域特性を活かした土地利用の推進	−25.4%
36	29	利便性の高い公共交通システムの構築	−25.6%



2. 重要度

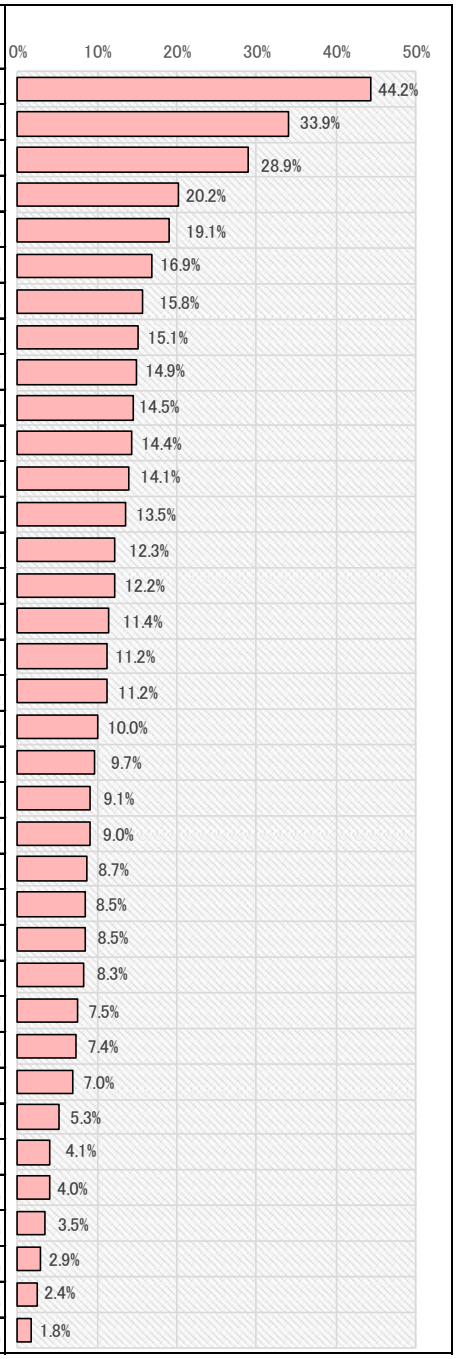
＜吉野町に今後期待すること＞

問3 「吉野町が今後重点的に取り組むべき」と思う事項を次の1～36の項目の中から5つ以内で選んでください。（番号を5つまで選んで○をつけてください）。

①全体集計

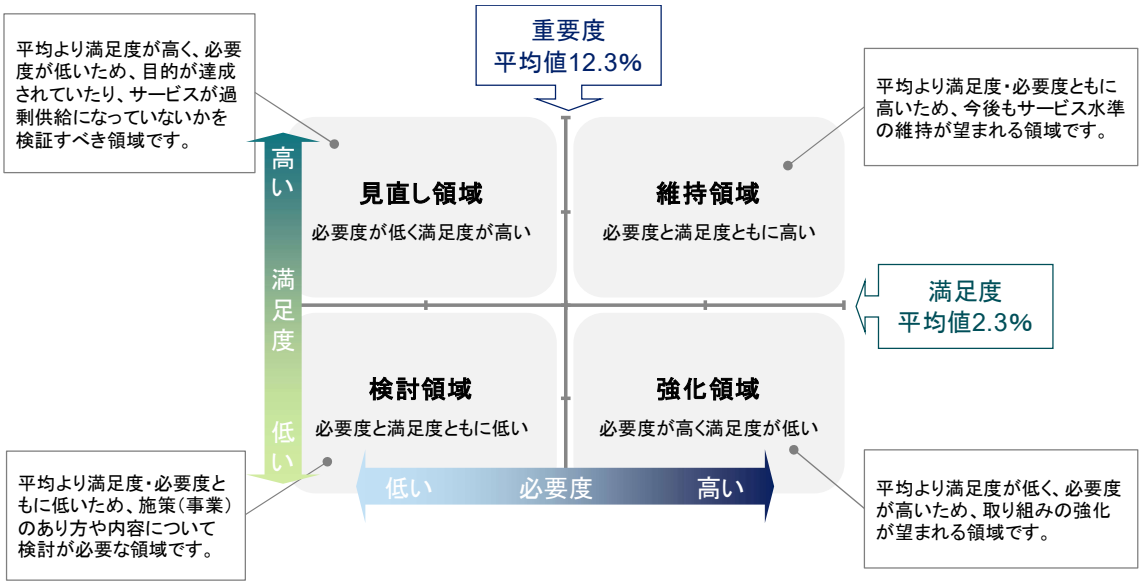
回答者の中で、「吉野町が今後重点的に取り組むべき」として重要度が最も高かった項目は、「地域医療の充実」で、44.2%を占めています。次いで、「利便性の高い公共交通システムの構築」が33.9%、「高齢者福祉の充実」が28.9%となっています。

順位	項目No.	項目名	重要度
1	11	地域医療の充実	44.2%
2	29	利便性の高い公共交通システムの構築	33.9%
3	12	高齢者福祉の充実	28.9%
4	10	高齢者等の生きがい・健康づくりの推進	20.2%
5	27	安全で快適な道路・河川の整備	19.1%
6	2	子育て支援の充実	16.9%
7	1	子育て環境の整備	15.8%
8	22	魅力あふれる観光の振興	15.1%
9	3	学校教育の充実	14.9%
10	25	消防・救急体制の充実	14.5%
11	30	安全で快適な居住環境の整備	14.4%
12	7	世界遺産・歴史文化の保全と活用	14.1%
13	24	地域防災力の向上	13.5%
14	15	社会保障制度の円滑な運営	12.3%
15	31	地域特性を活かした土地利用の推進	12.2%
16	16	自然環境の保全・保護	11.4%
17	21	木材関連産業の振興	11.2%
17	35	職員の人財育成	11.2%
19	28	安全で快適な上下水道の整備	10.0%
20	34	財政健全化と行財政改革の推進	9.7%
21	19	農林漁業の振興	9.1%
22	17	廃棄物の適正な処理	9.0%
23	23	地域間交流と定住の促進	8.7%
24	9	健康づくり事業の充実	8.5%
24	20	商工業の振興	8.5%
26	36	住民目線の行政経営とマネジメント体制の構築	8.3%
27	8	人権が尊重されるまちづくり	7.5%
28	26	交通安全・防犯対策の推進	7.4%
29	13	障がい者福祉の充実	7.0%
30	14	地域福祉活動の充実	5.3%
31	4	地域ぐるみでの青少年の健全育成	4.1%
32	33	住民参加と開かれた町政の推進	4.0%
33	5	社会教育と生涯学習の推進	3.5%
34	6	社会体育と生涯スポーツの推進	2.9%
35	32	協働のまちづくりの推進	2.4%
36	18	低炭素社会の実現への取り組み	1.8%



3. 重要度×満足度

町が取り組んでいる36の施策（取組）について、横軸に重要度、縦軸に満足度をとり、それぞれの平均値を交点とした散布図に、回答結果をプロットしています。「強化領域」に位置する施策は、重要度が平均値より高く、満足度が平均値より低い、一方で「見直し領域」に位置する施策は重要度が平均値より低く、満足度が平均値より高いということを表しています。また、「維持領域」に位置する施策は、重要度も満足度も平均値より高いことを表し、「検討領域」に位置する施策は、重要度も満足度も平均値より低いということを表しています。

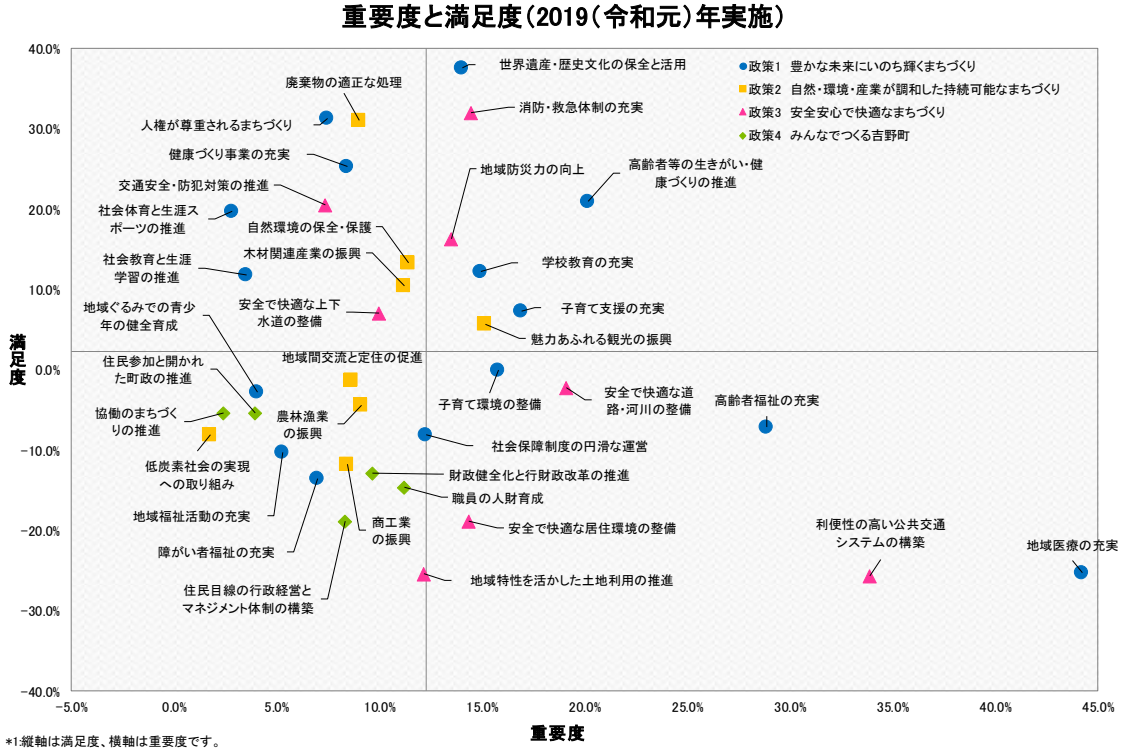


※満足度と重要度の算出方法は、以下のとおりです。

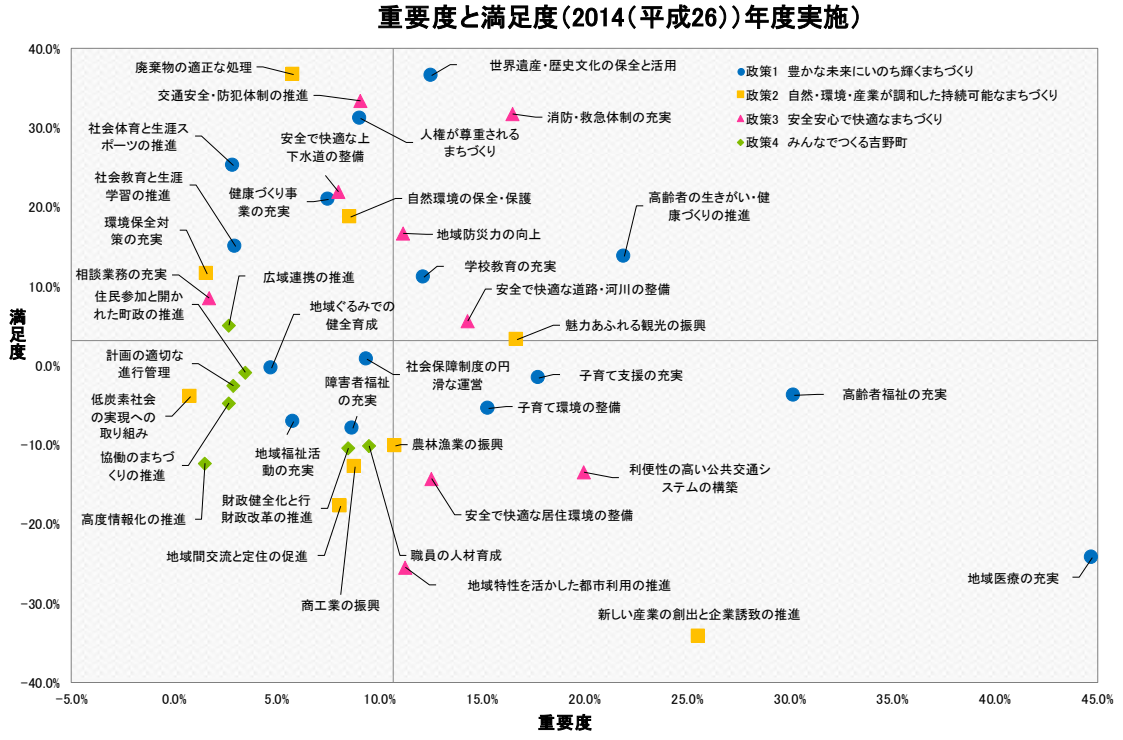
- **重要度**：当該項目が重要であると選択した人の割合（選択件数／有効回答件数　911件）
- **満足度**：「満足率（「そう思う」「まあそう思う」と回答した人の割合）」から「不満率（「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した人の割合）」を控除した数値
- **満足率**：「そう思う」「まあそう思う」と回答した人の数／有効回答者数
- **不満率**：「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した人の数／有効回答者数

問2の今の吉野町の状況に対する満足度と問3の吉野町に今後期待することの結果を4象限で整理すると、36の取組のうち、重要度が高く、満足度が低い「強化領域」は7つの取組です。

また、前回調査結果と比較すると「利便性の高い公共交通システムの構築」の重要度が高くなっています。



*1:縦軸は満足度、横軸は重要度です。
*2:縦軸との交点は12.3%（重要度の平均値）、横軸との交点は2.3%（満足度の平均値）です。



*1:縦軸は満足度、横軸は重要度です。
*2:縦軸との交点は10.7%（重要度の平均値）、横軸との交点は3.1%（満足度の平均値）です。

【参考】今回調査と前回調査の結果数値一覧

No	今回調査（2019（令和元）年度実施）			前回調査（2014（平成26）年度実施）			推移（変化）	
	施策名	重要度	満足度	施策名	重要度	満足度	重要度	満足度
1	子育て環境の整備	15.8%	0.0%	子育て環境の整備	15.3%	-5.3%	0.5%	5.3%
2	子育て支援の充実	16.9%	7.4%	子育て支援の充実	17.8%	-1.5%	-0.9%	8.9%
3	学校教育の充実	14.9%	12.2%	学校教育の充実	12.2%	11.2%	2.7%	1.0%
4	地域ぐるみでの青少年の健全育成	4.1%	-2.7%	地域ぐるみでの健全育成	4.8%	-0.3%	-0.7%	-2.4%
5	社会教育と生涯学習の推進	3.5%	11.9%	社会教育と生涯学習の推進	3.0%	15.0%	0.5%	-3.1%
6	社会体育と生涯スポーツの推進	2.9%	19.8%	社会体育と生涯スポーツの推進	2.9%	25.2%	-0.1%	-5.5%
7	世界遺産・歴史文化の保全と活用	14.1%	37.7%	世界遺産・歴史文化の保全と活用	12.6%	36.6%	1.5%	1.0%
8	人権が尊重されるまちづくり	7.5%	31.3%	人権が尊重されるまちづくり	9.1%	31.3%	-1.6%	0.0%
9	健康づくり事業の充実	8.5%	25.4%	健康づくり事業の充実	7.6%	20.9%	0.9%	4.4%
10	高齢者等の生きがい・健康づくりの推進	20.2%	21.0%	高齢者の生きがい・健康づくりの推進	22.0%	13.8%	-1.8%	7.1%
11	地域医療の充実	44.2%	-25.2%	地域医療の充実	44.8%	-24.2%	-0.5%	-1.1%
12	高齢者福祉の充実	28.9%	-7.1%	高齢者福祉の充実	30.2%	-3.7%	-1.4%	-3.4%
13	障がい者福祉の充実	7.0%	-13.5%	障害者福祉の充実	8.7%	-7.9%	-1.7%	-5.6%
14	地域福祉活動の充実	5.3%	-10.2%	地域福祉活動の充実	5.8%	-7.1%	-0.5%	-3.1%
15	社会保障制度の円滑な運営	12.3%	-8.1%	社会保障制度の円滑な運営	9.4%	0.8%	2.9%	-8.9%
16	自然環境の保全・保護	11.4%	13.3%	自然環境の保全・保護	8.6%	18.7%	2.8%	-5.4%
17	廃棄物の適正な処理	9.0%	31.1%	廃棄物の適正な処理	5.8%	36.7%	3.2%	-5.7%
				環境保全対策の充実	1.6%	11.6%		
18	低炭素社会の実現への取り組み	1.8%	-8.1%	低炭素社会の実現への取り組み	0.8%	-3.8%	0.9%	-4.3%
19	農林漁業の振興	9.1%	-4.4%	農林漁業の振興	10.8%	-10.1%	-1.7%	5.7%
20	商工業の振興	8.5%	-11.7%	商工業の振興	8.8%	-12.7%	-0.4%	0.9%
21	木材関連産業の振興	11.2%	10.4%					
				新しい産業の創出と企業誘致の推進	25.6%	-34.2%		
22	魅力あふれる観光の振興	15.1%	5.7%	魅力あふれる観光の振興	16.7%	3.3%	-1.6%	2.5%
23	地域間交流と定住の促進	8.7%	-1.2%	地域間交流と定住の促進	8.1%	-17.7%	0.5%	16.5%
24	地域防災力の向上	13.5%	16.4%	地域防災力の向上	11.2%	16.7%	2.3%	-0.4%
25	消防・救急体制の充実	14.5%	31.9%	消防・救急体制の充実	16.5%	31.7%	-2.0%	0.2%
26	交通安全･防犯対策の推進	7.4%	20.5%	交通安全・防犯体制の推進	9.1%	33.4%	-1.7%	-12.8%
				相談業務の充実	1.7%	8.5%		
27	安全で快適な道路･河川の整備	19.1%	-2.2%	安全で快適な道路・河川の整備	14.3%	5.7%	4.8%	-7.9%
28	安全で快適な上下水道の整備	10.0%	7.0%	安全で快適な上下水道の整備	8.0%	22.0%	2.0%	-15.0%
29	利便性の高い公共交通システムの構築	33.9%	-25.6%	利便性の高い公共交通システムの構築	20.0%	-13.5%	13.9%	-12.1%
30	安全で快適な居住環境の整備	14.4%	-18.8%	安全で快適な居住環境の整備	12.6%	-14.3%	1.8%	-4.5%
31	地域特性を活かした土地利用の推進	12.2%	-25.4%	地域特性を活かした都市利用の推進	11.3%	-25.5%	0.9%	0.1%
32	協働のまちづくりの推進	2.4%	-5.4%	協働のまちづくりの推進	2.7%	-4.8%	-0.3%	-0.6%
33	住民参加と開かれた町政の推進	4.0%	-5.3%	住民参加と開かれた町政の推進	3.5%	-0.8%	0.5%	-4.5%
				高度情報化の推進	1.5%	-12.3%		
34	財政健全化と行財政改革の推進	9.7%	-12.8%	財政健全化と行財政改革の推進	8.5%	-10.3%	1.2%	-2.5%
35	職員の人財育成	11.2%	-14.6%	職員の人材育成	9.5%	-10.1%	1.7%	-4.5%
36	住民目線の行政経営とマネジメント体制の構築	8.3%	-18.9%	計画の適切な進行管理	2.9%	-2.4%	5.4%	-16.4%
				広域連携の推進	2.7%	5.1%	-2.7%	-5.1%
	平均値	12.3%	2.3%	平均値	10.7%	3.1%		

※　今回調査は第４次吉野町総合計画後期基本計画の施策体系を参考とした調査設計であり、前回調査は第４次吉野町総合計画前期基本計画の施策体系を参考とした設計としているため、施策（取組）の数が異なっています。

※　重要度が平均より高い結果の数値には水色の網掛け、満足度が平均より低い結果の数値には黄緑の網掛けをしています。

4. 意識・行動

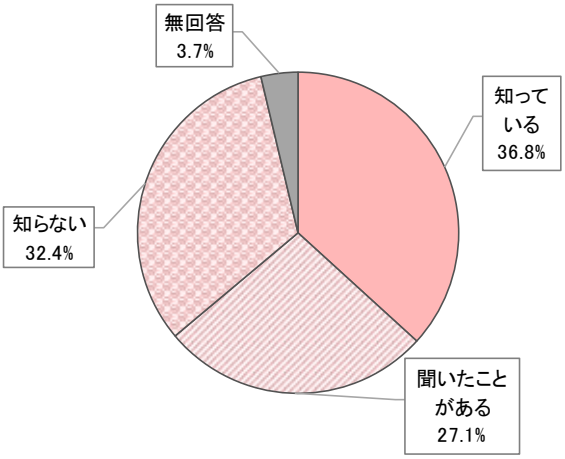
4.1 地域コミュニティの分野

4.1.1 自治協議会の認知と参加

(1)-① あなたは、自治協議会について知っていますか。(番号を1つ選んで○をつけてください。)

①全体集計

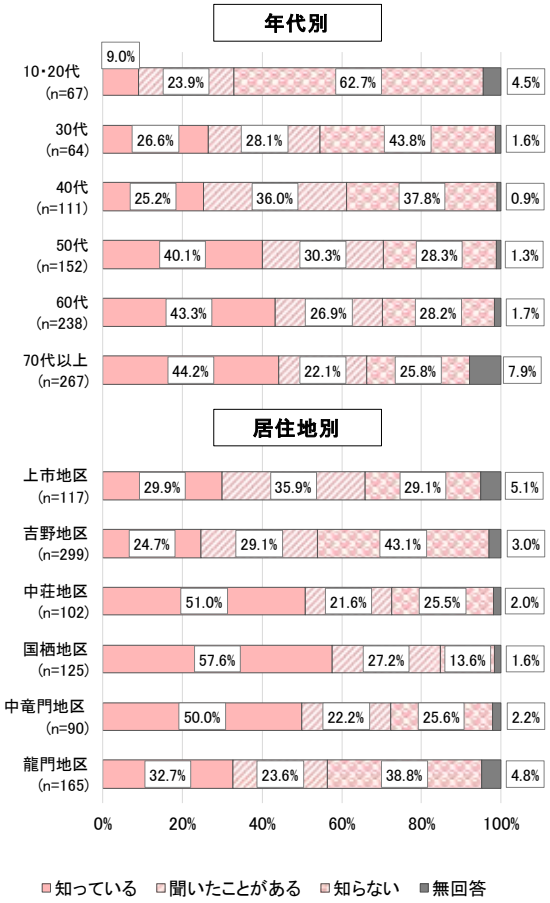
自治協議会について、「知っている」の割合が36.8%と最も高くなっています。また、「聞いたことがある」と回答した回答者は27.1%であり、「知っている」の回答者と合わせて、約6割の回答者が自治協議会を認知しています。



②属性別集計

年代別にみると、「知っている」と回答した年代は、70代以上が44.2%と最も高く、次いで60代が43.3%、50代が40.1%となっています。

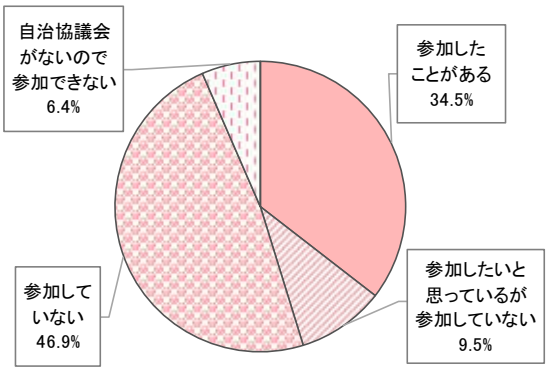
また、地域別にみると、「知っている」と回答した地域は、国栖地区が57.6%と最も高く、次いで中荘地区が51.0%、中竜門地区が50.0%となっています。



(1)-② 上記①で「1.知っている」、「2.聞いたことがある」と回答した方にお伺いします。あなたは、自治協議会の活動に参加したことがありますか。(番号を1つ選んで○をつけてください。)

①全体集計

自治協議会について、「参加していない」の割合が46.9%と最も高くなっています。次いで、「参加したことがある」が34.5%、「参加したいと思っているが参加していない」が9.5%と続きます。

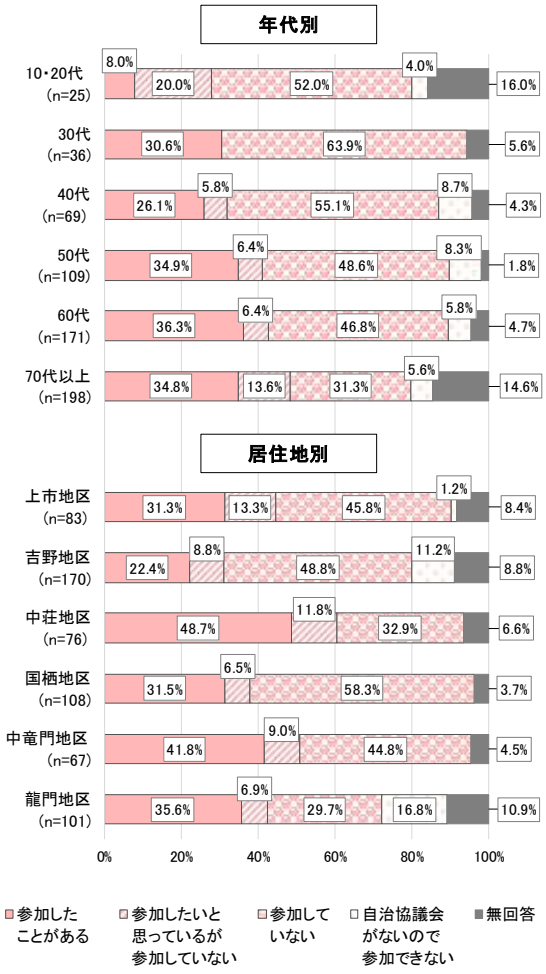


n=582

②属性別集計

年代別にみると、「参加したことがある」と回答した年代は、60代以上が36.3%と最も高く、次いで50代が34.9%、70代以上が34.8%となっています。「参加したいと思っているが参加していない」と回答した割合は10代及び20代が最も高くなっています。

また、地域別にみると、「参加したことがある」と回答した地域は、中荘地区が48.7%と最も高く、次いで中竜門地区が41.8%、龍門地区が35.6%となっています。

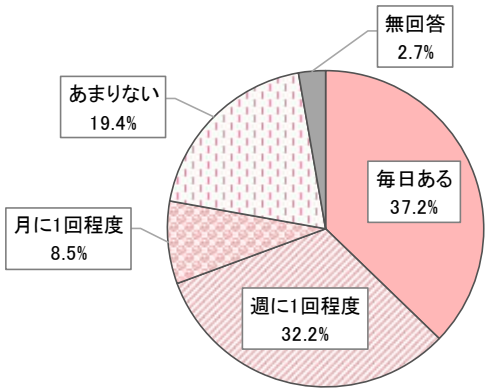


4.1.2 近所付き合いの頻度

(2) あなたは、隣近所の方と顔を合わせて話をする頻度はどの程度ありますか。(番号を1つ選んで○をつけてください。)

①全体集計

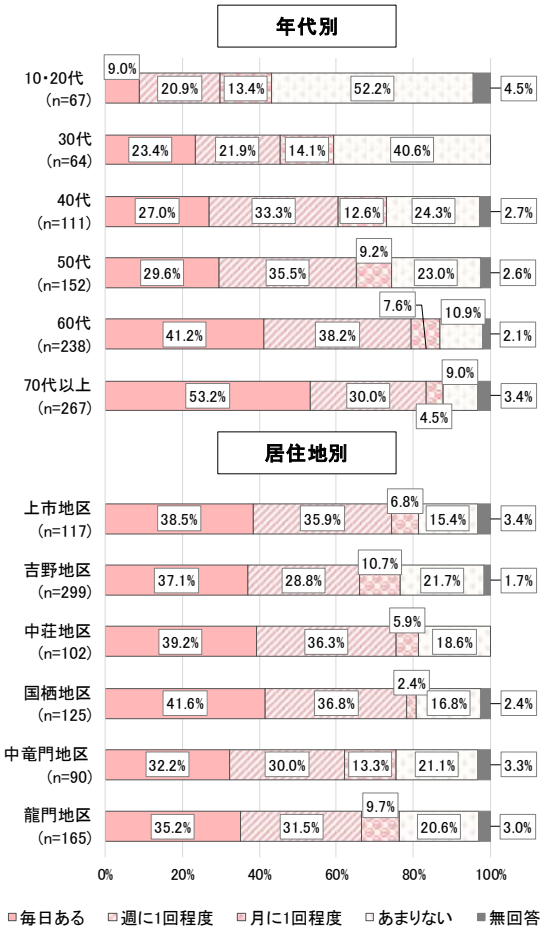
近所付き合いについて、「毎日ある」の割合が37.2%と最も高くなっています。次いで、「週に1回程度」が32.2%、「あまりない」が19.4%となっています。全体の2割程度が近所付き合いの頻度が少なくなっています。



① 属性別集計

年代別にみると、「毎日ある」と回答した年代は、70代以上が53.2%と最も高く、次いで60代が41.2%、50代が29.6%となっています。

また、地域別にみると、「毎日ある」と回答した地域は、国栖地区が41.6%と最も高く、次いで中荘地区が39.2%、上市地区が38.5%となっています。

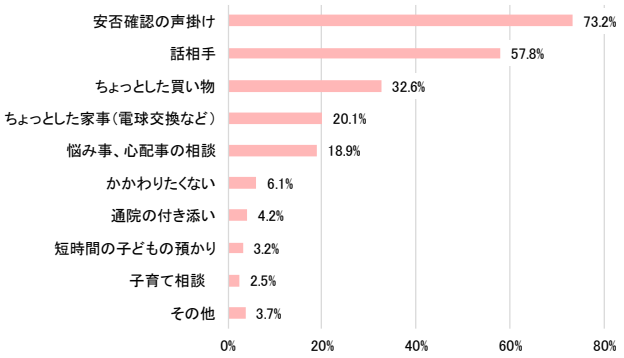


4.1.3 手助けできること

（3）あなたは、隣近所で困っている世帯があった場合、あなたにできることは何ですか。（あてはまる番号を3つまで選んで○をつけてください。）

①全体集計

隣近所で困っている世帯があった場合に手助けできることは、「安否確認の声掛け」が73.2％と最も高くなっています。次いで、「話し相手」が57.8％、「ちょっとした買い物」が32.6％となっています。



②属性別集計

年代別にみると、「安否確認の声掛け」と回答した方は60代が76.9％と最も高くなっています。次いで、50代と70代以上が75.7％となっています。「話し相手」では、70代以上が65.2％と最も高く、年代が下がるごとに低くなっています。また、「ちょっとした買い物」では、30代が42.2％と最も高くなっています。

また、地域別にみると、「安否確認の声掛け」では上市地区が76.9％と最も高く、次いで龍門地区が74.5％、中竜門地区が73.3％となっています。「話し相手」では、国栖地区が63.2％と最も高くなっています。「ちょっとした買い物」では、上市地区が39.3％と最も高くなっています。

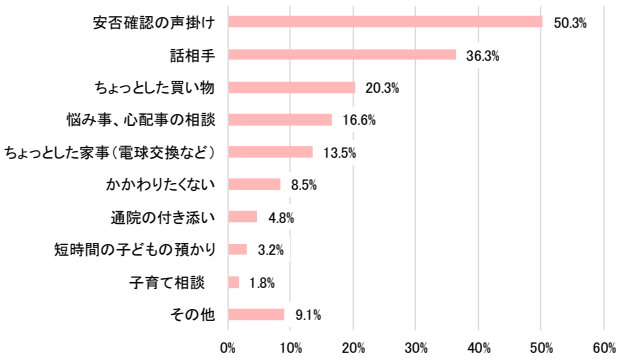
	安否確認の声掛け	話し相手	ちょっとした買い物	ちょっとした家事（電球交換など）	悩み事、心配事の相談	通院の付き添い	子育て相談	短時間の子どもの預かり	かかわりたくない	その他
10・20代（n=67）	56.7%	49.3%	22.4%	13.4%	11.9%	1.5%	3.0%	6.0%	19.4%	6.0%
30代（n=64）	70.3%	51.6%	42.2%	12.5%	18.8%	3.1%	4.7%	4.7%	15.6%	3.1%
40代（n=111）	68.5%	52.3%	33.3%	26.1%	17.1%	2.7%	4.5%	7.2%	6.3%	1.8%
50代（n=152）	75.7%	55.3%	35.5%	17.8%	12.5%	2.6%	2.6%	2.6%	5.3%	4.6%
60代（n=238）	76.9%	58.8%	35.3%	24.4%	21.4%	5.5%	1.3%	3.4%	3.4%	5.0%
70代以上（n=267）	75.7%	65.2%	29.2%	19.5%	22.8%	5.6%	2.2%	0.4%	3.7%	2.6%
上市地区（n=117）	76.9%	59.0%	39.3%	19.7%	21.4%	3.4%	2.6%	2.6%	0.9%	4.3%
吉野地区（n=299）	73.2%	58.5%	32.8%	20.7%	19.4%	3.3%	2.3%	3.3%	9.4%	2.3%
中荘地区（n=102）	70.6%	56.9%	29.4%	14.7%	23.5%	3.9%	2.0%	3.9%	10.8%	4.9%
国栖地区（n=125）	72.8%	63.2%	29.6%	20.8%	16.8%	3.2%	1.6%	1.6%	3.2%	4.8%
中竜門地区（n=90）	73.3%	51.1%	33.3%	27.8%	16.7%	8.9%	2.2%	3.3%	4.4%	5.6%
龍門地区（n=165）	74.5%	58.2%	33.3%	19.4%	15.8%	4.8%	4.2%	3.6%	4.8%	3.6%

4.1.4 手助けしてほしいこと

(4)あなたが生活上隣近所の人に手助けをしてもらうとしたらどんなことをしてほしいですか。(あてはまる番号を3つまで選んで○をつけてください。)

①全体集計

生活上隣近所の人に手助けしてほしいことについては、「安否確認の声掛け」が50.3%と最も高くなっています。次いで、「話し相手」が36.3%、「ちょっとした買い物」が20.3%となっています。



②属性別集計

年代別にみると、「安否確認の声掛け」では70代以上が57.7%と最も高くなっています。「話し相手」では、70代以上が46.4%と最も高くなっています。「ちょっとした買い物」では、70代以上が25.8%と最も高くなっています。

また、地域別にみると、「安否確認の声掛け」では中荘地区が52.9%と最も高く、次いで国栖地区が51.2%、吉野地区が50.8%となっています。「話し相手」では、国栖地区が39.2%と最も高くなっています。「ちょっとした買い物」では、龍門地区が22.4%と最も高く、次いで上市地区が22.2%、中竜門地区が21.1%となっています。

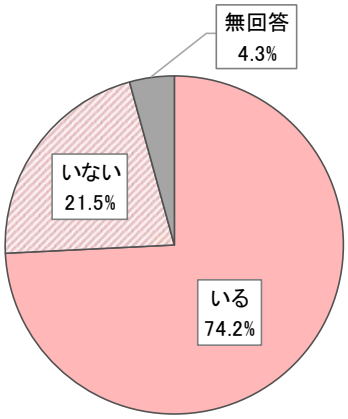
	安否確認の声掛け	話し相手	ちょっとした買い物	ちょっとした家事(電球交換など)	悩み事、心配事の相談	通院の付き添い	子育て相談	短時間の子どもの預かり	かかわりたくない	その他
10・20代 (n=67)	35.8%	28.4%	7.5%	7.5%	16.4%	3.0%	4.5%	4.5%	20.9%	11.9%
30代 (n=64)	42.2%	17.2%	17.2%	3.1%	23.4%	3.1%	10.9%	15.6%	18.8%	12.5%
40代 (n=111)	44.1%	20.7%	8.1%	14.4%	15.3%	2.7%	2.7%	9.0%	9.9%	13.5%
50代 (n=152)	46.1%	34.2%	19.1%	12.5%	15.8%	6.6%	2.0%	0.7%	9.9%	10.5%
60代 (n=238)	55.0%	41.6%	25.2%	13.9%	16.0%	3.8%	0.0%	1.3%	5.0%	10.1%
70代以上 (n=267)	57.7%	46.4%	25.8%	17.6%	16.5%	6.4%	0.0%	0.7%	4.5%	4.5%
上市地区 (n=117)	50.4%	35.0%	22.2%	12.8%	20.5%	2.6%	2.6%	0.9%	4.3%	13.7%
吉野地区 (n=299)	50.8%	38.1%	20.4%	16.7%	17.4%	3.7%	1.7%	3.0%	11.7%	7.0%
中荘地区 (n=102)	52.9%	34.3%	15.7%	12.7%	15.7%	2.0%	1.0%	4.9%	6.9%	7.8%
国栖地区 (n=125)	51.2%	39.2%	20.0%	8.0%	16.0%	5.6%	1.6%	1.6%	6.4%	12.0%
中竜門地区 (n=90)	50.0%	33.3%	21.1%	16.7%	13.3%	10.0%	4.4%	5.6%	7.8%	7.8%
龍門地区 (n=165)	49.7%	35.8%	22.4%	12.1%	15.2%	6.7%	0.6%	3.6%	9.1%	9.7%

4.1.5 相談相手の有無

（5） あなたは、「子育て」や「家族」のこと、「介護」や「認知症」など生活上のことで悩んだり困った時に身近に相談できる人がいますか。（番号を1つ選んで○をつけてください。）

① 全体集計

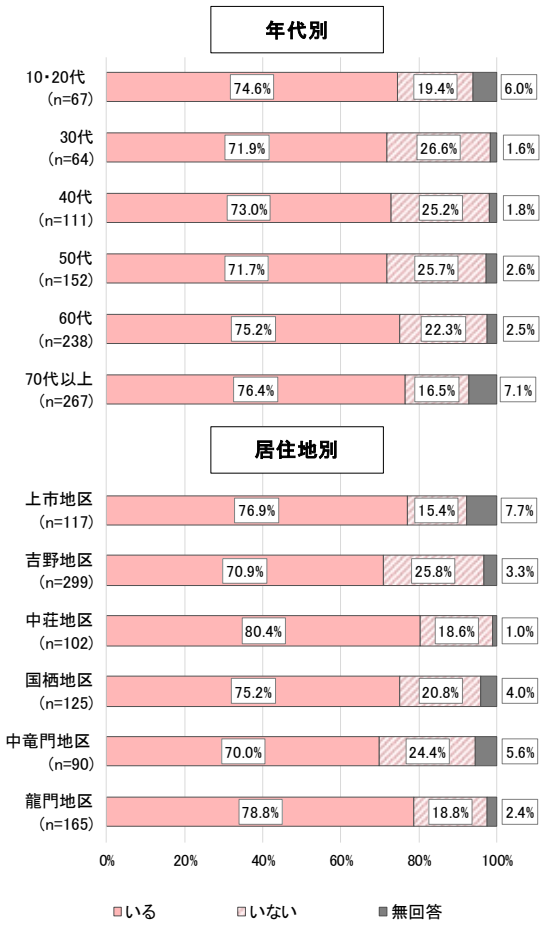
相談相手について、相談相手が「いる」回答者の割合は74.2%、「いない」回答者の割合が21.5%となっています。



① 属性別集計

年代別にみると、相談相手が「いる」と回答した年代は、70代以上が76.4%と最も高くなっています。相談相手が「いる」と回答した回答者が最も少ない年代は、50代の71.7%ですが、いずれも70%以上と高い水準となっています。

また、地域別にみると、すべての地域において相談相手が「いる」と回答したが7割以上となっています。



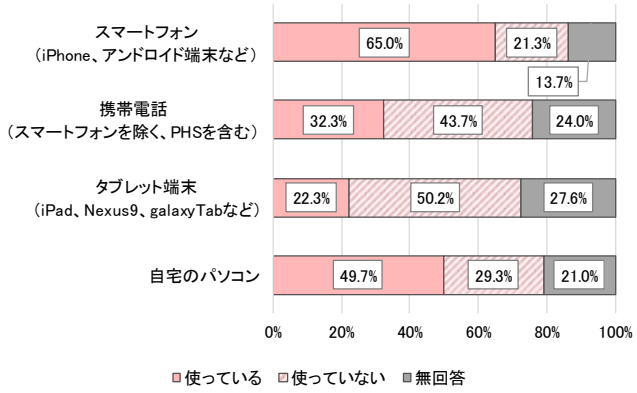
4.2 情報ネットワーク環境の分野

4.2.1 IT機器の利用

（6） あなたは、次の①～④の機器を利用していますか。（①～④のそれぞれ番号を1つ選んで○をつけてください。）

① 全体集計

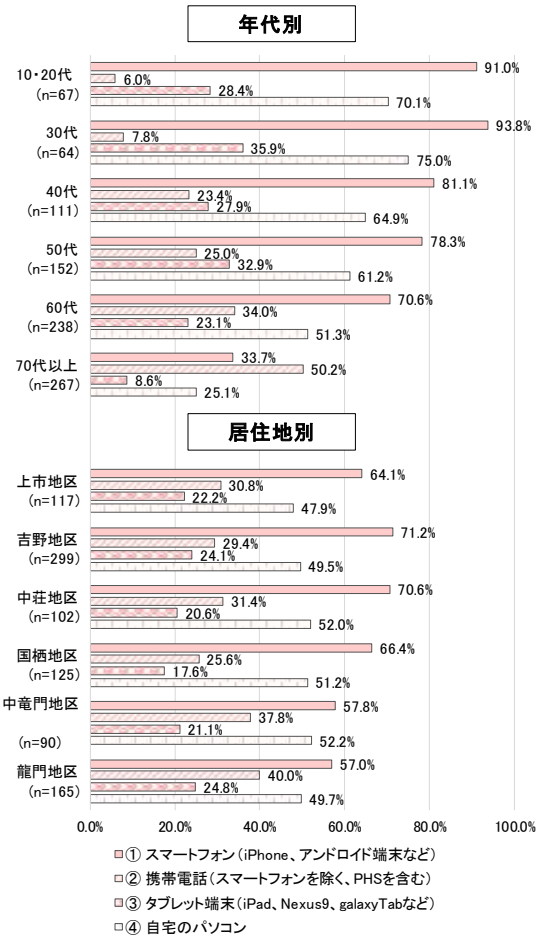
IT機器の利用について、スマートフォンを使っている回答者は65.0%、携帯電話を使っている回答者は32.3%、タブレット端末を使っている回答者は22.3%、自宅のパソコンを使っている回答者は49.7%となっています。



②属性別集計

年代別にみると、10・20代から60代まではスマートフォンの利用割合が高くなっています。また、70代以上は携帯電話の利用割合が高くなっています。

また、地域別にみると、すべての地域においてスマートフォンの利用割合が高くなっています。また、すべての地域において、スマートフォンの次いで自宅のパソコンの利用割合が高くなっています。

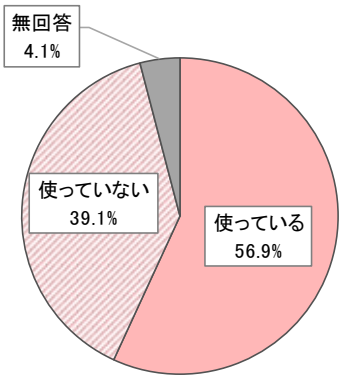


4.2.2 無線インターネットの利用

（7） 自宅でのインターネット接続についてお伺いします。あなたは、自宅で無線LAN（Wi-Fi）を経由して使っていますか。（番号を1つ選んで○をつけてください。）

① 全体集計

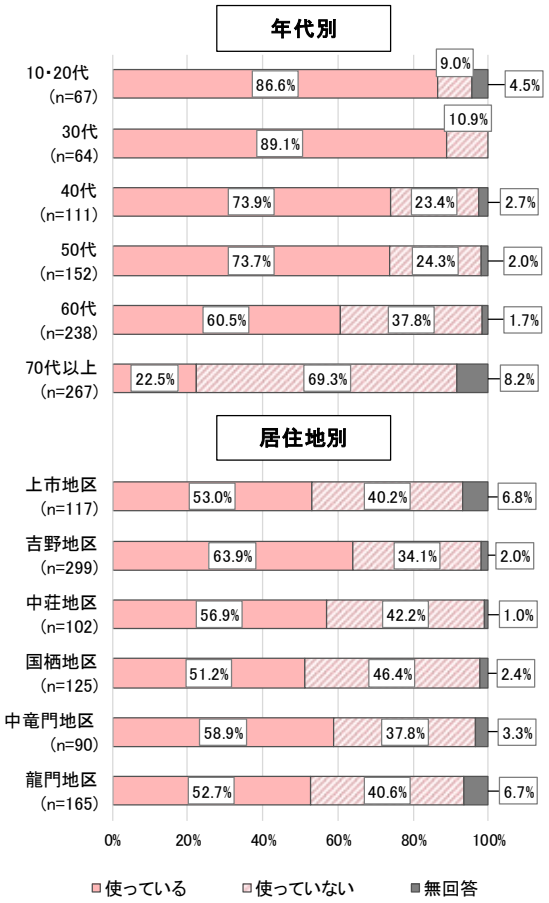
無線インターネットの利用について、「使っている」の割合は56.9%、「使っていない」の割合は39.1%となっています。



② 属性別集計

年代別にみると、「使っている」と回答した年代は、30代が89.1%と最も高く、次いで10・20代が86.6%、40代が73.9%となっています。

また、地域別にみると、「使っている」と回答した地域は、吉野地区が63.9%と最も高く、次いで中竜門地区が58.9%、中荘地区が56.9%となっています。

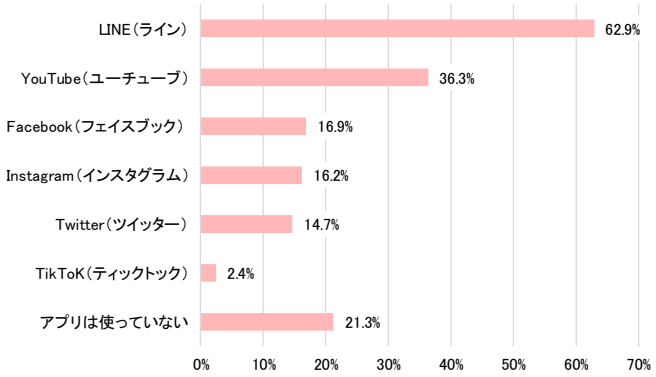


4.2.3 アプリの利用

（8） 次のアプリの中で、あなたが利用しているアプリはありますか。（あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。）

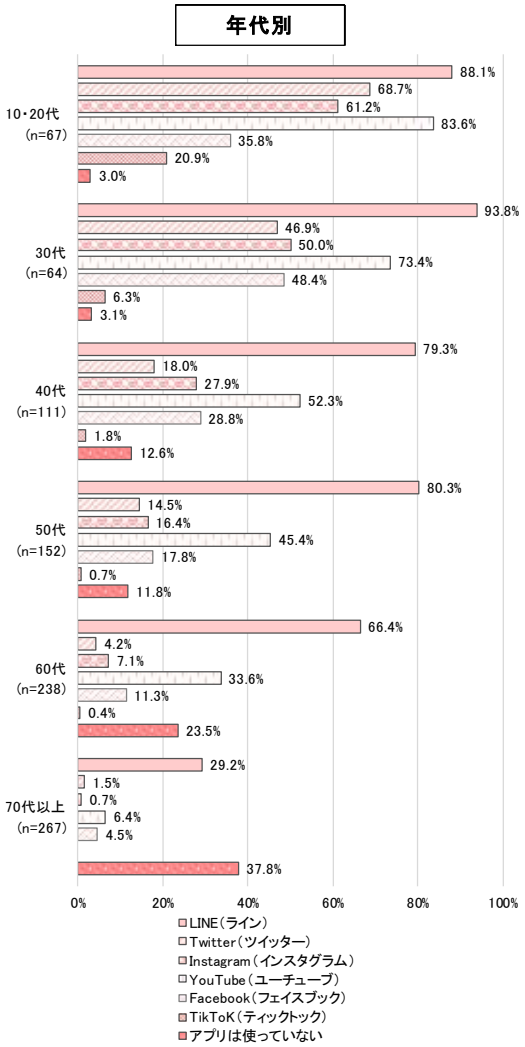
①全体集計

アプリの利用について、は「LINE（ライン）」が62.9%となっており、最も利用されています。次いで、「YouTube（ユーチューブ）」が36.3%、「Facebook（フェイスブック）」が16.9%となっています。

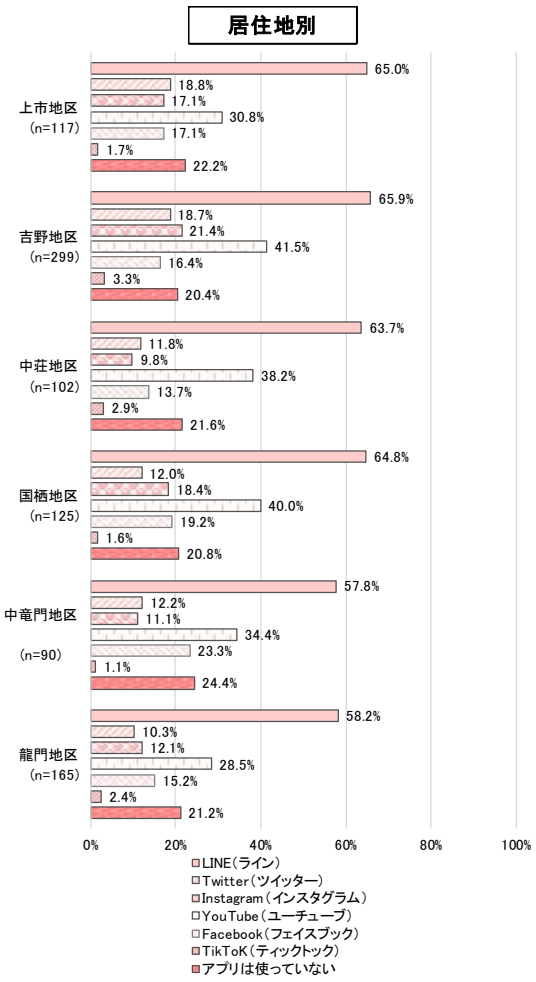


②属性別集計

年代別にみると、すべての年代において、「LINE（ライン）」が最も高く利用されており、次いで、YouTube（ユーチューブ）」となっています。また、70代以上は「アプリを使っていない」回答者の方が高くなっています。



また、地域別にみると、すべての地域において「LINE（ライン）」が最も高く利用されており、次いで、「YouTube（ユーチューブ）」となっています。



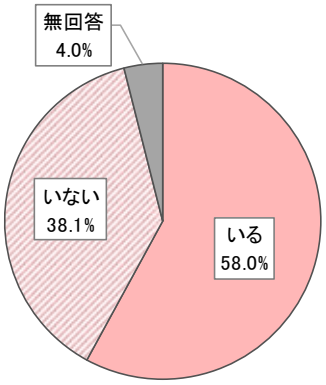
4.3 健康・福祉の分野

4.3.1 かかりつけ医の有無

（9）あなたは、体調が悪くなったり、気がかりになったりした際に、身近に相談できる「かかりつけ医」がいますか。（番号を1つ選んで○をつけてください。）

① 全体集計

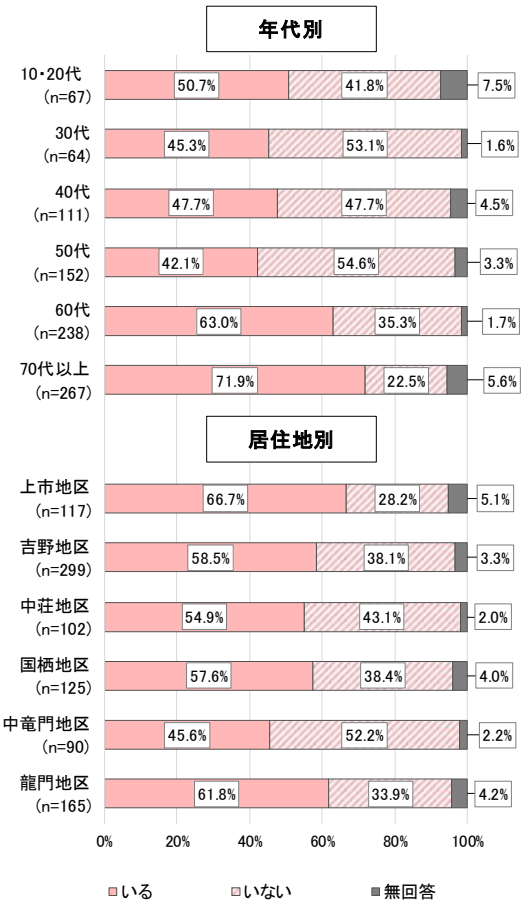
かかりつけ医の有無について、かかりつけ医が「いる」回答者の割合は58.0％、「いない」回答者の割合は38.1%となっています。



② 属性別集計

年代別にみると、かかりつけ医が「いる」と回答した年代は、70代以上が71.9%と最も高く、次いで60代が63.0％、10・20代が50.7%となっています。一方で、かかりつけ医が「いない」と回答した回答者が最も高い年代は50代で54.6%となっています。

また、地域別にみると、かかりつけ医が「いる」と回答した地域は、上市地区が66.7%と最も高く、次いで、龍門地区が61.8%、吉野地区が58.5%となっています。一方で、中竜門地区はかかりつけ医が「いない」と回答した回答者が最も高く、52.2%となっています。

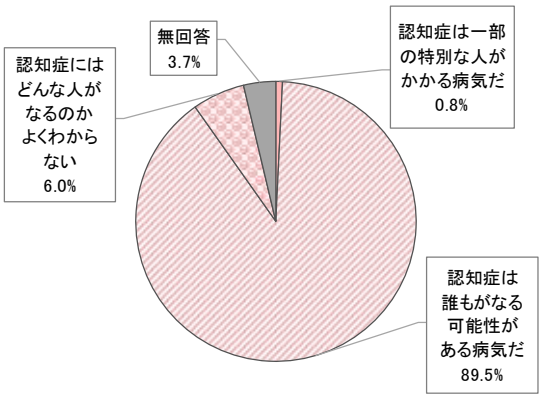


4.3.2認知症のイメージ

（10） あなたは認知症についてどのようなイメージを持っていますか。あなたのイメージにもっとも近いものを選んでください。（番号を1つ選んで○をつけてください。）

① 全体集計

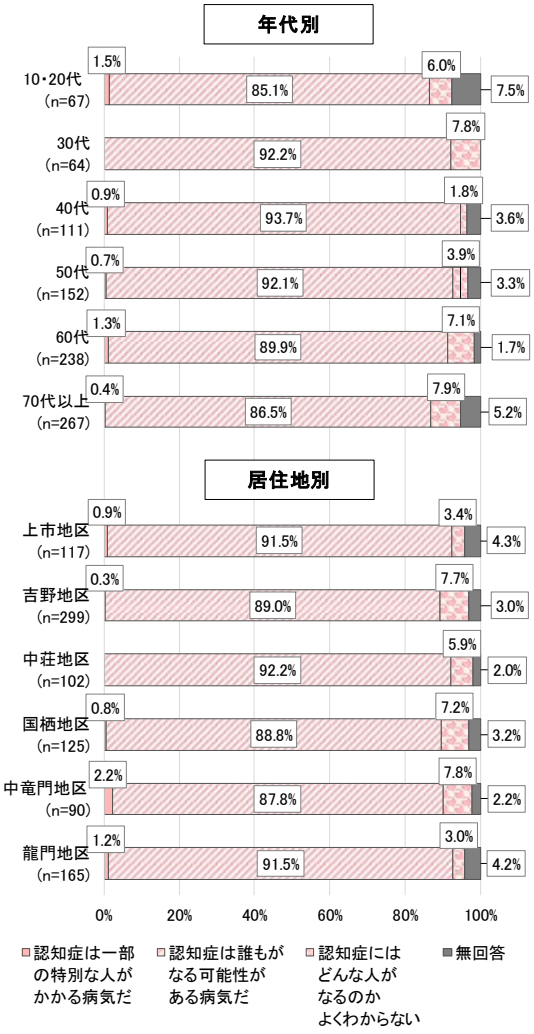
認知症のイメージついて、「認知症は誰もがなる可能性がある病気だ」の割合が89.5%と最も高く、約9割となっています。また、「認知症は一部の特別な人がかかる病気だ」「認知症にはどんな人がなるのかよくわからない」の割合は10%未満となっています。



② 属性別集計

年代別にみると、「認知症は誰もがなる可能性がある病気だ」と回答した年代は、40代が93.7%と最も高く、次いで30代が92.2%、50代が92.1%となっています。

また、地域別にみると、「認知症は誰もがなる可能性がある病気だ」と回答した地域は、中荘地区が92.2%と最も高く、次いで上市地区と龍門地区が91.5%となっています。

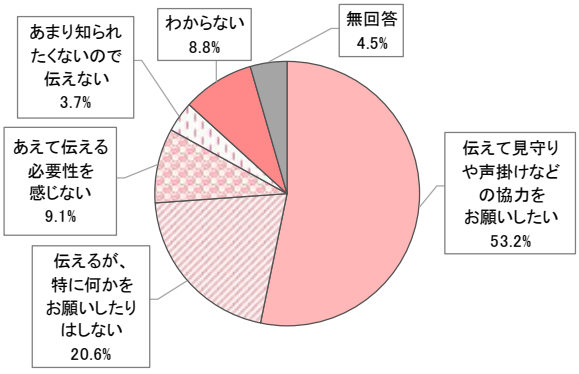


4.3.3 認知症を伝えるか

（11） もし、あなたやあなたの家族が認知症になったら、そのことを近所の人に伝えますか。（番号を1つ選んで○をつけてください。）

① 全体集計

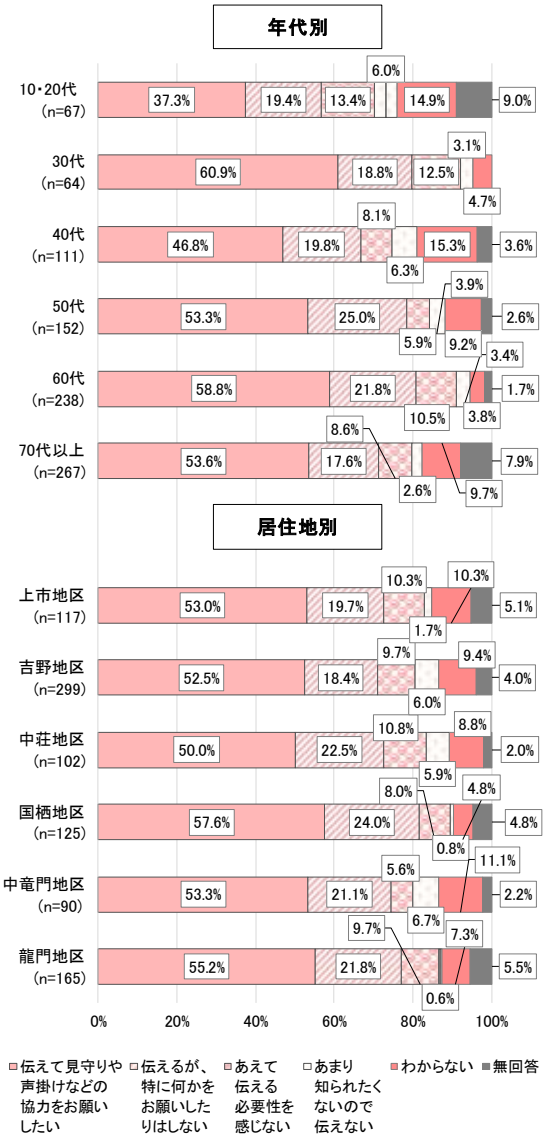
認知症を伝えるかについて、「伝えて見守りや声がけなどの協力をお願いしたい」の割合が53.2%と最も高くなっています。次いで、「伝えるが、特に何かをお願いしたりはしない」が20.6%となっています。



②属性別集計

年代別にみると、「伝えて見守りや声がけなどの協力をお願いしたい」と回答した回答者は30代が60.9%と最も高くなっています。次いで、60代が58.8%、70代以上が53.6%となっています。

また、地域別にみると、「伝えて見守りや声がけなどの協力をお願いしたい」と回答した回答者は国栖地区が57.6%と最も高くなっています。次いで、龍門地区が55.2%、中竜門地区が53.3%となっています。

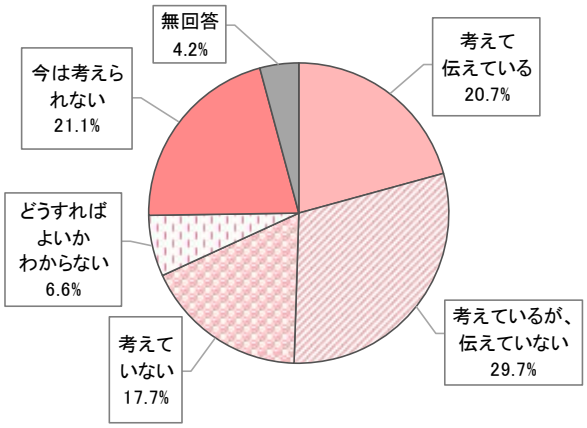


4.3.4 終末期の計画の有無

（12）あなたは、いざというとき（医療や介護が必要になった時、人生の終末期になった時など）「誰に」「どのように」対応してもらうか考え、誰かに伝えていますか。（番号を1つ選んで○をつけてください。）

① 全体集計

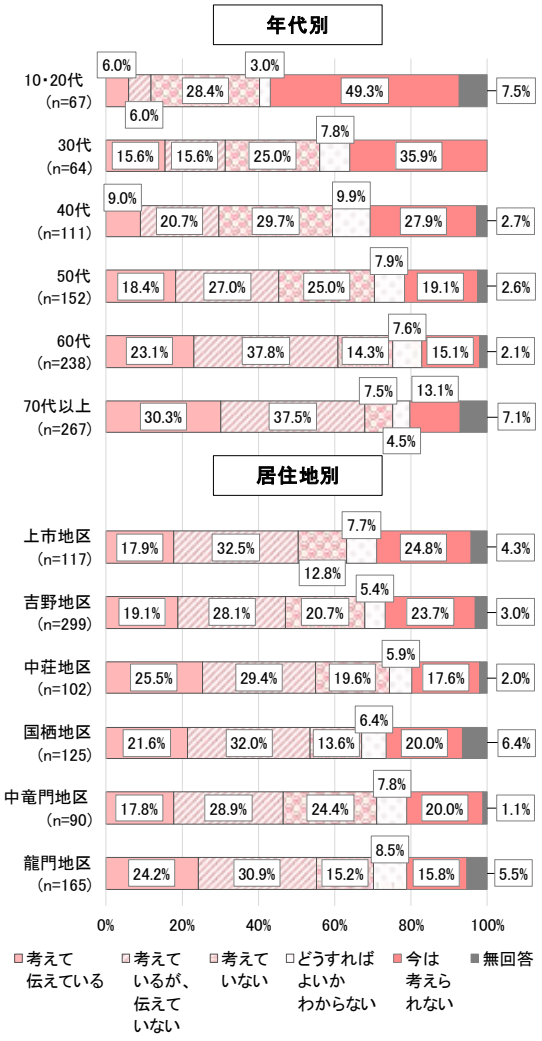
終末期の計画について、「考えているが、伝えていない」の割合が29.7%と最も高くなっています。次いで、「今は考えられない」が21.1%、「考えて伝えている」が20.7%となっています。



② 属性別集計

年代別にみると、終末期の計画について「考えて伝えている」と回答した割合が、40代からは年齢が上がるにつれて高くなっています。

また、地域別にみると、終末の計画について「考えて伝えている」と回答した割合は、中荘地区が25.5%と最も高く、次いで、龍門地区が24.2%、国栖地区が21.6%となっています。



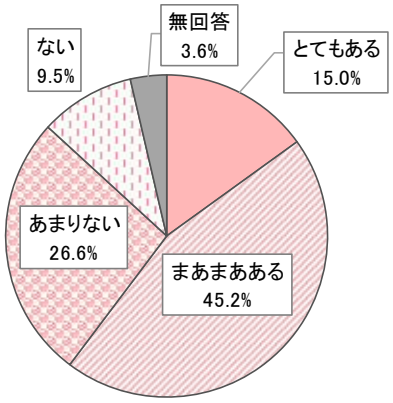
4.4 歴史・文化の分野

4.4.1 歴史・文化への興味

（13）あなたは、吉野町の歴史や文化財に興味・関心がありますか。（番号を1つ選んで○をつけてください。）

① 全体集計

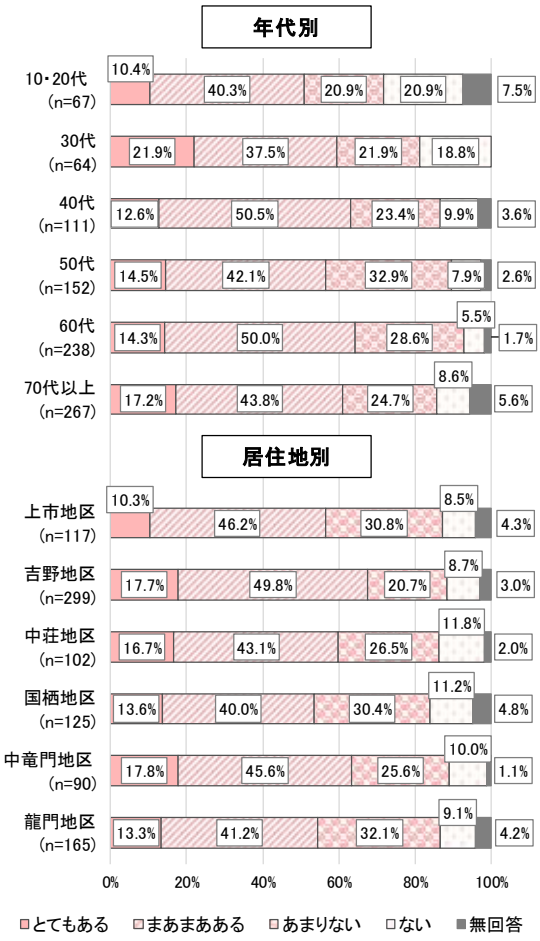
吉野町の歴史や文化財に対する興味・関心について、興味・関心がある（「とてもある」と「まあまあある」の合計）は60.2%となっており、全体の約6割を占めています。



② 属性別集計

年代別にみると、吉野町の歴史や文化財に対する興味・関心があると回答した割合は、60代が64.3%と最も高く、次いで、40代が63.1%となっています。

また、地域別にみると、吉野町の歴史や文化財に対する興味・関心があると回答した割合は、吉野地区が67.5%と最も高く、次いで、中竜門地区が63.4%となっています。

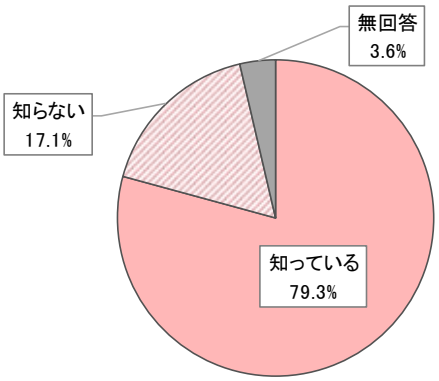


4.4.2 歴史資料館の認知

（14） あなたは、吉野町に歴史資料館があることを知っていますか。（番号を1つ選んで○をつけてください。）

① 全体集計

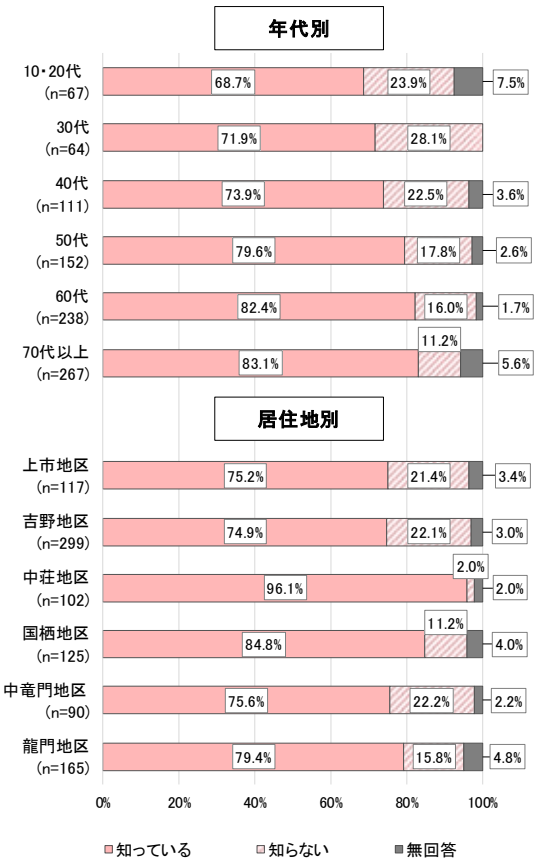
吉野町の歴史資料館について、「知っている」の割合が79.3%となっており、全体の約8割を占めています。



② 属性別集計

年代別にみると、吉野町の歴史資料館を「知っている」と回答した割合は、すべての年代で6割以上を占めています。

また、地域別にみると、吉野町の歴史資料館を「知っている」と回答した地域は、中荘地区が96.1%と最も高く、次いで国栖地区が84.8%、龍門地区79.4%となっています。

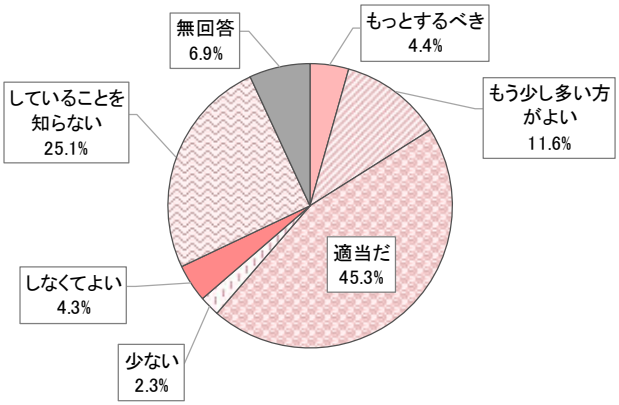


4.4.3 講演会の回数の評価

（15）あなたは、吉野町の歴史や文化財について学ぶことができる講演会などの回数についてどのように感じますか。（番号を1つ選んで○をつけてください。）

① 全体集計

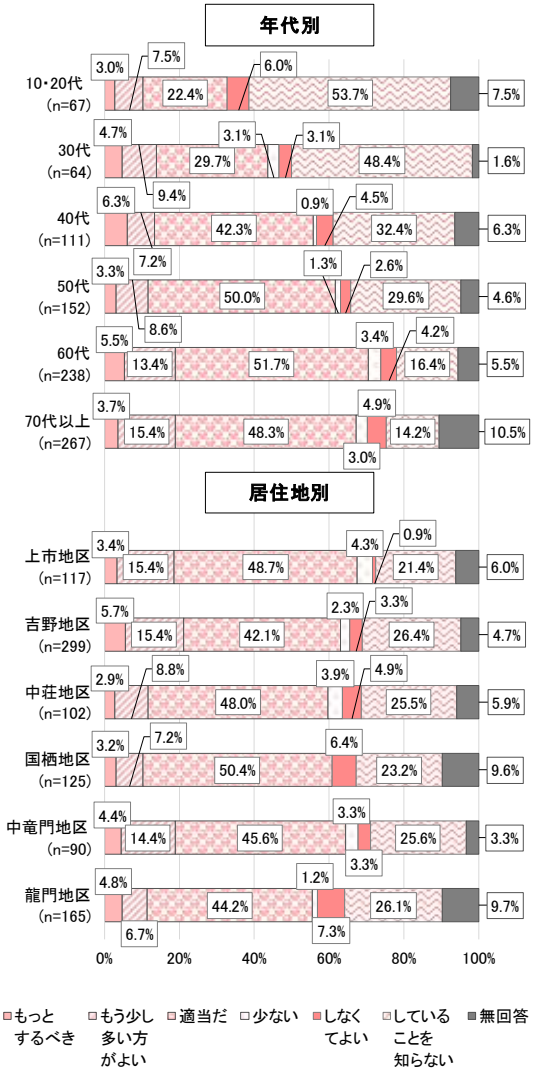
吉野町の歴史や文化財について学ぶことができる講演会などの回数について、「適当だ」と回答した割合が45.3%と最も高くなっています。次いで、「していることを知らない」が25.1%、「もう少し多い方がよい」が11.6%となっています。



② 属性別集計

年代別にみると、吉野町の歴史や文化財について学ぶことができる講演会などの回数について、10・20代及び30代は「していることを知らない」と回答した割合が高く、40代から70代以上は「適当だ」と回答した割合が高くなっています。

また、地域別にみると、吉野町の歴史や文化財について学ぶことができる講演会などの回数について、すべての地域で「適当だ」と回答した割合が約5割を占めています。

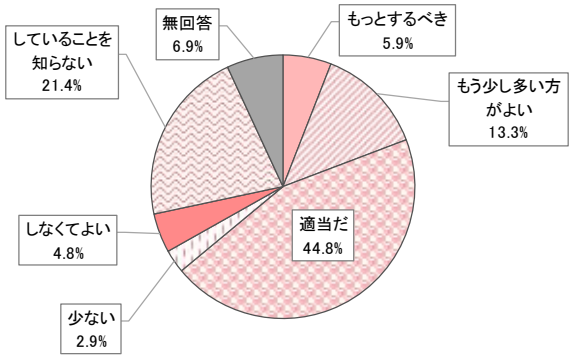


4.4.4 イベント回数の評価

（16） あなたは、吉野町の歴史や文化財を楽しむことができるイベント（歴史体験・コンサートなど）の回数についてどのように感じますか。（番号を1つ選んで○をつけてください。）

① 全体集計

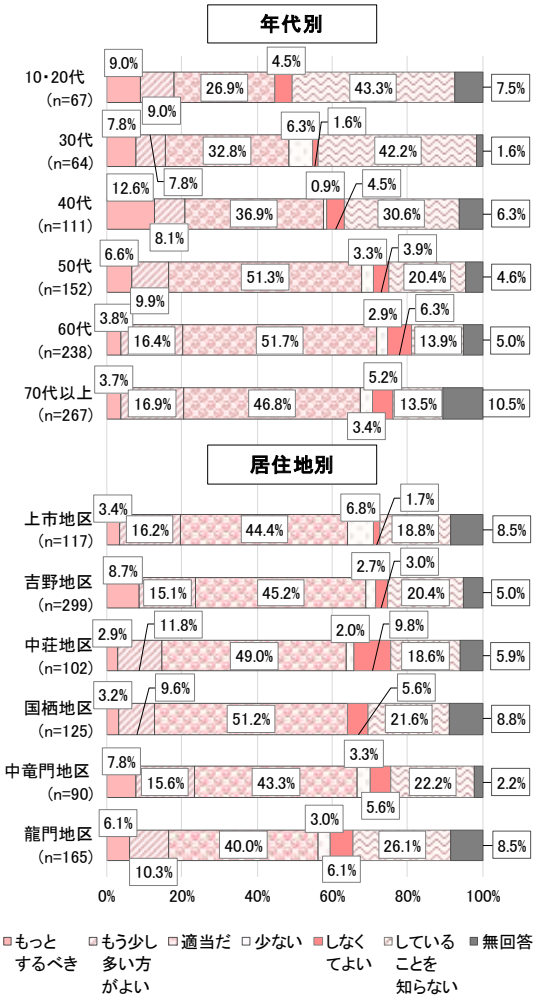
吉野町の歴史や文化財を楽しむことができるイベント（歴史体験・コンサートなど）の回数について、「適当だ」の割合が44.8%と最も高くなっています。次いで、「していることを知らない」が21.4%、「もう少し多い方がよい」が13.3%となっています。



② 属性別集計

年代別にみると、吉野町の歴史や文化財を楽しむことができるイベント（歴史体験・コンサートなど）の回数について、10・20代、30代、40代では「していることを知らない」と回答した割合が約4割を占めており、50代から70代以上では「適当だ」と回答している割合が約5割を占めています。

また、地域別にみると、吉野町の歴史や文化財を楽しむことができるイベント（歴史体験・コンサートなど）の回数について、すべての地域において「適当だ」と回答している割合が約4～5割を占めています。

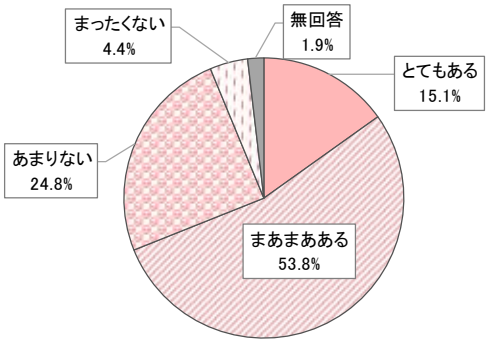


4.4.5 地域への愛着

（17） あなたは、地域の歴史や文化について誇りを持っており、自分たちの住む地域に愛着がありますか。（番号を1つ選んで○をつけてください。）

① 全体集計

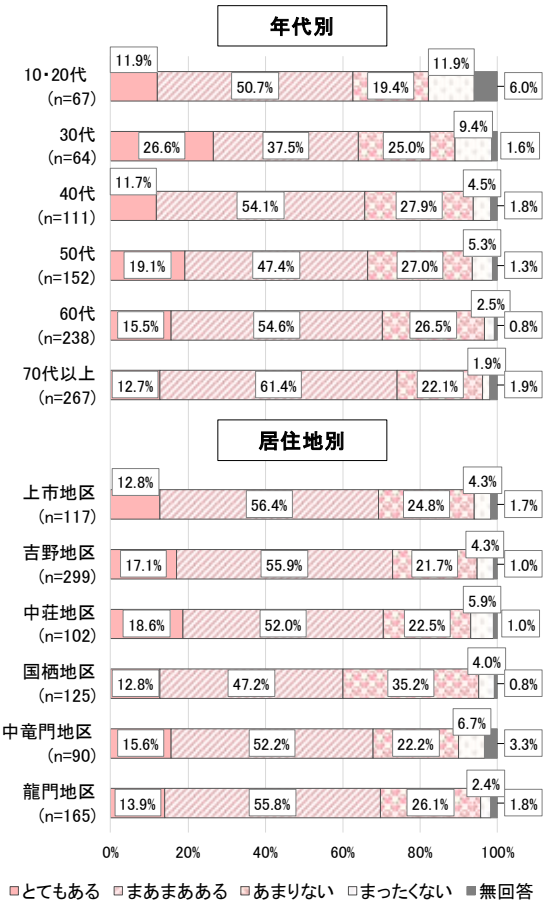
自分たちの住む地域に愛着がある（「とてもある」と「まあまあある」の合計）と回答している割合が68.9%となっており、全体の約7割を占めています。



③ 属性別集計

年代別にみると、自分たちの住む地域に愛着がある（「とてもある」と「まあまあある」の合計）と回答している割合は、70代以上が71.4%と最も高くなっています。また、愛着がとてもあると回答した割合は30代が26.6%と他の年代と比べて高くなっています。

また、地域別にみると、自分たちの住む地域に愛着がある（「とてもある」と「まあまあある」の合計）と回答している割合は、吉野地区が73.0%と最も高く、次いで、中荘地区が70.6%、龍門地区が69.7%となっています。

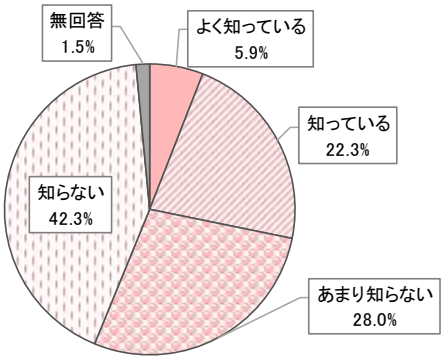


4.4.6 日本遺産の認知

（18） あなたは「吉野の造林技術」や「天然の森」、「柿の葉寿司」など人々の暮らしとこころの文化が、平成28年4月に日本遺産として登録されたことを知っていますか。（番号を1つ選んで○をつけてください。）

① 全体集計

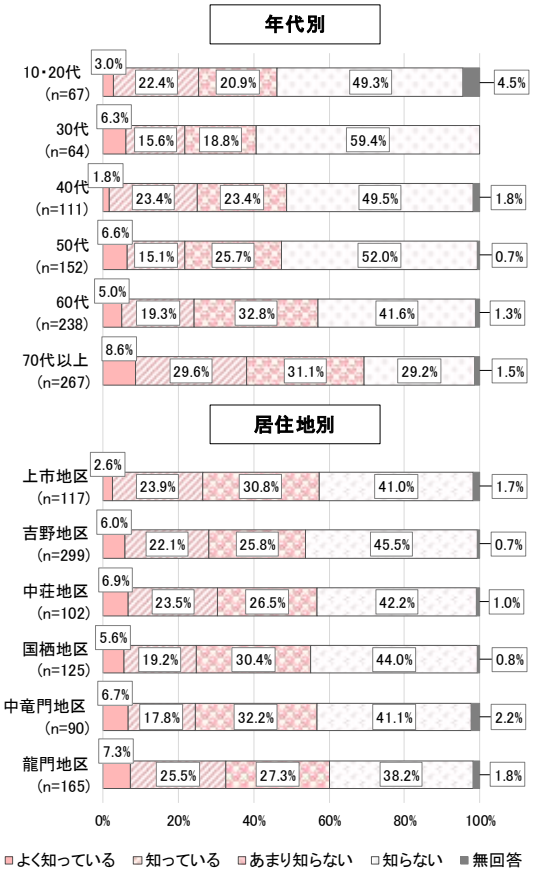
平成28年4月に日本遺産として登録された吉野の造林技術」や「天然の森」、「柿の葉寿司」など人々の暮らしとこころの文化について、「知らない」の割合が42.3%と最も高くなっています。次いで、「あまり知らない」が28.0%、「よく知っている」が5.9%となっており、全体の約7割以上が知らないとしています。



③ 属性別集計

年代別にみると、吉野の造林技術」や「天然の森」、「柿の葉寿司」など人々の暮らしとこころの文化について、知っている（「よく知っている」と「知っている」の合計）と回答した割合は、70代以上が38.2%と最も高くなっています。一方で、知らない（「あまり知らない」の「知らない」の合計）と回答した割合は30代が78.2%と最も高くなっています。

また、地域別にみると、吉野の造林技術」や「天然の森」、「柿の葉寿司」など人々の暮らしとこころの文化について、知っている（「よく知っている」と「知っている」の合計）と回答した割合は、龍門地区が32.8%と最も高くなっています。一方で、知らない（「あまり知らない」の「知らない」の合計）と回答した割合は、国栖地区が74.4%となっています。



Ⅳ. 自由記述

1. 全体

自由意見欄に記入があったのは回答者911人のうち320人（35.1%）でした。また、意見数は、1人の回答者が複数の施策（取組）に関する意見を記入している場合は、意見を切り離して整理したため863件となっています。

施策別の集計結果を見ると、「利便性の高い公共交通システムの構築」に関する意見が71件と最も多く、次いで「商工業の振興」が60件、「魅力あふれる観光の振興」が52件などとなっています。

その他の意見については、まちに対する期待や不安、日常生活で感じていること、アンケートに関する意見、など多岐に渡る意見がありました。

政策	基本施策	施策名	意見数
【政策1】豊かな未来にいのちが輝くまちづくり	【基本施策1】未来を担う子どもの育成	①子育て支援の充実	30
		②学校教育の充実	20
		③地域ぐるみでの健全育成	6
	【基本施策2】学びあい生きがいがもてる地域社会の構築	①社会教育と生涯学習の推進	6
		②社会体育と生涯スポーツの推進	5
		③世界遺産・歴史文化の保全と活用	11
		④人権が尊重されるまちづくり	2
	【基本施策3】生き生きと暮らせる健康のまちづくり	①健康づくり事業の充実	3
		②高齢者等の生きがい・健康づくりの推進	13
		③地域医療の充実	37
	【基本施策4】みんなで支えあう福祉のまちづくり	①高齢者福祉の充実	25
		②障がい者福祉の充実	5
		③地域福祉活動の充実	13
		④社会保障制度の円滑な運営	3
【政策2】自然・環境・産業が調和した持続可能なまちづくり	【基本施策1】豊かな自然と恵まれた環境の保全	①自然環境の保全・保護	20
		②廃棄物の適正な処理	2
		③低炭素社会の実現への取り組み	1
	【基本施策2】吉野の魅力を活かした産業の振興	①農林漁業の振興	38
		②商工業の振興	60
		③木材関連産業の振興	37
	【基本施策3】地域資源を活かした観光・交流の促進	①魅力あふれる観光の振興	52
		②地域間交流と定住の促進	27
【政策3】安全安心で快適なまちづくり	【基本施策1】安全安心な暮らしを支えるまちづくり	①地域防災力の向上	10
		②消防・緊急体制の充実	3
		③交通安全・防犯対策の推進	2
	【基本施策2】生活基盤の充実した快適で住みよいまちづくり	①安全で快適な道路・河川の整備	29
		②安全で快適な上下水道の整備	8
		③利便性の高い公共交通システムの構築	71
		④安全で快適な住環境の整備	13
		⑤地域特性を活かした土地利用の推進	28
【政策4】みんなでつくる吉野町	【基本施策1】住民参加と協働のまちづくりの推進	①協働のまちづくりの推進	31
		②住民参加と開かれた町政の推進	32
	【基本施策2】効率的で効果的な行政経営の推進	①財政健全化と行財政改革の推進	26
		②職員の人材育成	37
		③住民目線の行政経営とマネジメントと体制の構築	29
その他			128
合計			863

※上記の表は、第4次吉野町総合計画後期基本計画の施策体系で集計した結果です。

Ⅴ. 調査票

第 5 次吉野町総合計画策定のためのアンケート調査
-調査ご協力のお願い-

町民の皆さまには、日頃から町政へのご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、吉野町では、まちづくりの最も基本となる計画として、平成 23 年度(2011 年度)から令和 2 年度(2020 年度)までを計画期間とする「第 4 次吉野町総合計画」を策定しており、「いのちが輝き笑顔あふれる吉野町～自然の恵みと歴史文化が息吹く こころのふるさと吉野町～」をまちの将来像としたまちづくりを進めてきました。

この現行の総合計画の計画期間が令和 2 年度(2020 年度)をもって終了することから、新たな総合計画の策定時期を迎えています。新たな総合計画は、皆さまからのまちづくりに対するご意見を伺いながら、共に作り上げていきたいと考えており、この度「吉野町民アンケート調査」を実施させていただく運びとなりました。

「吉野町民アンケート調査」をお願いする方は、満 18 歳以上の無作為に抽出した吉野町にお住まいの方 2,000 人です。

この調査は無記名で回答していただくものであり、個人が特定されることはありません。したがいまして、個人の秘密が漏れたり、他の用途に使われたりすることは一切ありません。

今後の町政を発展させるための大変重要な調査です。お忙しいところ誠にお手数ですが、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和元年 9 月

吉野町長　北 岡　篤

記 入 上 の 注 意

1. お送りした**あて名のご本人**がお答えください。氏名は記入しないでください。
2. 何らかの事情により、ご本人が記入できない場合には、できる限りご本人の意思を反映してご家族の方などが記入してください。
3. 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて、**令和元年 9 月 27 日(金)**までに郵便ポストに投函してくださいますようお願いします。(切手は不要です)
4. 記入にあたって不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

《お問い合わせ先》

〒639-3192　吉野町大字上市80番地の 1

吉野町役場　総合政策課

電話　0746-32-3081(代表)／0746-39-9070(直通)／FAX0746-32-8855

メールアドレス　seisaku@town.yoshino.lg.jp

問 1　あなた自身のことについておたずねします。それぞれの項目ごとにお答えください。

(1) あなたの性別をお聞かせください。(番号を**1つ選んで**○をつけてください)

1　男性	2　女性

(2) あなたの年齢をお聞かせください。

(**令和元年 9 月 1 日現在の満年齢**を記入してください)

満＿＿＿＿＿歳

(3) あなたの職業をお聞かせください。(あてはまる番号を**すべて選んで**○をつけてください)

1 農林水産業	2 自営業
3 会社員、団体職員	4 公務員
5 パート・アルバイト	6 家事専業
7 学生	8 無職
9 その他(　　)	

(4) あなたのお住まいについてお聞かせください。(番号を**1つ選んで**○をつけてください)

1 上市地区	2 吉野地区	3 中荘地区
4 国栖地区	5 中竜門地区	6 龍門地区

(5) あなたの現在の健康状況はいかがですか。(番号を**1つ選んで**○をつけてください。)

1 よい	2 まあよい	3 ふつう
4 あまりよくない	5 よくない	

(6) **あなたを含む**同居の家族は何人ですか。

＿＿＿＿＿人

(7-1) あなたには現在、養育中の子どもがいますか。

（番号を**1つ選んで**〇をつけてください）

1 いる　　2 いない

(7-2)「1 いる」と答えた方にお聞きします。合計で何人いますか？

また、1～4 のどちらにそれぞれ何人該当しますか？

（合計人数を数字で記入し、該当するもの**すべて**についてそれぞれの人数を数字で記入してください）

合計＿＿＿＿人 うち、 1 小学生未満　　＿＿＿＿人 2 小学生　　＿＿＿＿人 3 中学生　　＿＿＿＿人 4 それ以外（高校生、大学生など）＿＿＿＿人

(8) 同居の家族（**あなた以外**）に 65 歳以上の高齢者はいますか。

（番号を**1つ選んで**〇をつけてください。）

1 いる　　2 いない

(9) 自家用車の利用について、あなたは次の記述のどれにあてはまりますか。

（番号を**1つ選んで**〇をつけてください。）

1 自家用車があり自分で運転する 2 自家用車はあるが自分では運転しない 3 自家用車はないが自分で運転できる 4 自家用車はなく自分で運転できない

(10) あなたは、この1年間のスマイルバスのご利用状況について、次の記述のどれにあてはまりますか。(番号を**1つ選んで**○をつけてください。)

1 年に11回以上利用した　　2 年に6～10回利用した
3 年に1～5回利用した　4 まったく利用しなかった

(11) 吉野町にお住まいになった経緯は以下のどれですか。(番号を**1つ選んで**○をつけてください。)

1 生まれてずっと吉野町に住んでいる
2 吉野町に住んだあと、他の市町村に引っ越し、再び吉野町に戻ってきた
3 他の市町村から吉野町に引っ越してきた

(12) 吉野町には、いつ頃から住んでおられますか。(番号を**1つ選んで**○をつけてください。)

1　3年未満　　2　3～5年前　　3　6～10年前
4　10～19年前　　5　20年以上前

(13) あなたは、今の住み心地についてどう思いますか。(番号を1つ選んで○をつけてください。)

1 住みよい
2 まあまあ住みよい
3 どちらともいえない
4 どちらかといえば住みにくい
5 住みにくい
6 わからない

(14) これからも今の場所に住み続けたいと思いますか。
(番号を1つ選んで○をつけてください。)

1 今の場所に住み続けたい
2 町内でよいところがあれば引っ越したい
3 町外へ引っ越したい
4 わからない

＜今の吉野町の状況に対する満足度＞

問 2　次のア～ヤの 36 の項目ごとに、**「今の吉野町の状況」**としてあてはまる**番号1か所**に「○」をつけてください。

		そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
例	【記載例】○○が充実している	5	4	3	2	1	0
ア	子育て環境が整備されている	5	4	3	2	1	0
イ	子育て支援が充実している	5	4	3	2	1	0
ウ	学校教育が充実している	5	4	3	2	1	0
エ	地域ぐるみで青少年の健全育成に取り組んでいる	5	4	3	2	1	0
オ	社会教育と生涯学習の推進に取り組んでいる	5	4	3	2	1	0
カ	社会体育と生涯スポーツの推進に取り組んでいる	5	4	3	2	1	0
キ	世界遺産・歴史文化の保全と活用に取り組んでいる	5	4	3	2	1	0
ク	人権を尊重している	5	4	3	2	1	0
ケ	健康づくり事業が充実している	5	4	3	2	1	0
コ	高齢者等の生きがい・健康づくりの推進に取り組んでいる	5	4	3	2	1	0
サ	地域医療が充実している	5	4	3	2	1	0
シ	高齢者福祉が充実している	5	4	3	2	1	0
ス	障がい者福祉が充実している	5	4	3	2	1	0
セ	地域福祉活動が充実している	5	4	3	2	1	0
ソ	社会保障制度の円滑な運営に取り組んでいる	5	4	3	2	1	0
タ	自然環境の保全・保護に取り組んでいる	5	4	3	2	1	0
チ	廃棄物が適正に処理されている	5	4	3	2	1	0

		そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
ツ	低炭素社会の実現に取り組んでいる	5	4	3	2	1	0
テ	農林漁業の振興に取り組んでいる	5	4	3	2	1	0
ト	商工業の振興に取り組んでいる	5	4	3	2	1	0
ナ	木材関連産業の振興に取り組んでいる	5	4	3	2	1	0
ニ	魅力あふれる観光の振興に取り組んでいる	5	4	3	2	1	0
ヌ	地域間交流と定住の促進に取り組んでいる	5	4	3	2	1	0
ネ	地域防災力の向上に取り組んでいる	5	4	3	2	1	0
ノ	消防・救急体制の充実に取り組んでいる	5	4	3	2	1	0
ハ	交通安全・防犯対策の推進に取り組んでいる	5	4	3	2	1	0
ヒ	安全で快適な道路・河川の整備に取り組んでいる	5	4	3	2	1	0
フ	安全で快適な上下水道の整備に取り組んでいる	5	4	3	2	1	0
ヘ	利便性の高い公共交通システムの構築に取り組んでいる	5	4	3	2	1	0
ホ	安全で快適な居住環境の整備に取り組んでいる	5	4	3	2	1	0
マ	地域特性を活かした土地利用の推進に取り組んでいる	5	4	3	2	1	0
ミ	協働のまちづくりの推進に取り組んでいる	5	4	3	2	1	0
ム	住民参加と開かれた町政の推進に取り組んでいる	5	4	3	2	1	0
メ	財政健全化と行財政改革の推進に取り組んでいる	5	4	3	2	1	0
モ	職員の人財育成に取り組んでいる	5	4	3	2	1	0
ヤ	住民目線の行政経営とマネジメント体制の構築に取り組んでいる	5	4	3	2	1	0

＜吉野町に今後期待すること＞

問 3 **「吉野町が今後重点的に取り組むべき」**と思う事項を次の 1～36 の項目の中から**5つ以内**で選んでください。（番号を **5 つまで選んで**○をつけてください）

1	子育て環境の整備	19	農林漁業の振興
2	子育て支援の充実	20	商工業の振興
3	学校教育の充実	21	木材関連産業の振興
4	地域ぐるみでの青少年の健全育成	22	魅力あふれる観光の振興
5	社会教育と生涯学習の推進	23	地域間交流と定住の促進
6	社会体育と生涯スポーツの推進	24	地域防災力の向上
7	世界遺産・歴史文化の保全と活用	25	消防・救急体制の充実
8	人権が尊重されるまちづくり	26	交通安全・防犯対策の推進
9	健康づくり事業の充実	27	安全で快適な道路・河川の整備
10	高齢者等の生きがい・健康づくりの推進	28	安全で快適な上下水道の整備
11	地域医療の充実	29	利便性の高い公共交通システムの構築
12	高齢者福祉の充実	30	安全で快適な居住環境の整備
13	障がい者福祉の充実	31	地域特性を活かした土地利用の推進
14	地域福祉活動の充実	32	協働のまちづくりの推進
15	社会保障制度の円滑な運営	33	住民参加と開かれた町政の推進
16	自然環境の保全・保護	34	財政健全化と行財政改革の推進
17	廃棄物の適正な処理	35	職員の人財育成
18	低炭素社会の実現への取り組み	36	住民目線の行政経営とマネジメント体制の構築

問 4　あなたの普段の生活についておたずねします。それぞれの項目ごとにお答えください。

【地域コミュニティの分野】

(1)-①　あなたは、自治協議会について知っていますか。(番号を**1つ選んで**○をつけてください。)

1　知っている	2　聞いたことがある	3　知らない

(1)-②　上記①で「1.知っている」、「2.聞いたことがある」と回答した方にお伺いします。あなたは、自治協議会の活動に参加したことがありますか。(番号を**1つ選んで**○をつけてください。)

1　参加したことがある	2　参加したいと思っているが参加していない
3　参加していない	4　自治協議会がないので参加できない

(2)　あなたは、隣近所の方と顔を合わせて話をする頻度はどの程度ありますか。(番号を**1つ選んで**○をつけてください。)

1　毎日ある	2　週に 1 回程度
3　月に 1 回程度	4　あまりない

(3)　あなたは、隣近所で困っている世帯があった場合、あなたにできることは何ですか。(あてはまる番号を**3つまで選んで**○をつけてください。)

1　安否確認の声掛け	2　話相手
3　ちょっとした買い物	4　ちょっとした家事(電球交換など)
5　悩み事、心配事の相談	6　通院の付き添い
7　子育て相談	8　短時間の子どもの預かり
9　かかわりたくない	10　その他(　　)

（4）あなたが生活上隣近所の人に手助けをしてもらうとしたらどんなことをしてほしいですか。（あてはまる番号を**3つまで選んで**○をつけてください。）

1 安否確認の声掛け	2 話相手
3 ちょっとした買い物	4 ちょっとした家事（電球交換など）
5 悩み事、心配事の相談	6 通院の付き添い
7 子育て相談	8 短時間の子どもの預かり
9 かかわりたくない	10 その他（　　）

（5）あなたは、「子育て」や「家族」のこと、「介護」や「認知症」など生活上のことで悩んだり困った時に身近に相談できる人がいますか。（番号を**1つ選んで**○をつけてください。）

1 いる	2 いない

【情報ネットワーク環境の分野】

（6）あなたは、次の①～④の機器を利用していますか。（①～④のそれぞれ番号を**1つ選んで**○をつけてください。）

① スマートフォン（iPhone、アンドロイド端末など）	1 使っている	2 使っていない
② 携帯電話（スマートフォンを除く、PHS を含む）	1 使っている	2 使っていない
③ タブレット端末（iPad、Nexus9、galaxyTab など）	1 使っている	2 使っていない
④ 自宅のパソコン	1 使っている	2 使っていない

（7）自宅でのインターネット接続についてお伺いします。あなたは、自宅で無線 LAN（Wi-Fi）を経由して使っていますか。（番号を**1つ選んで**○をつけてください。）

1 使っている	2 使っていない

（8）次のアプリの中で、あなたが利用しているアプリはありますか。（あてはまる番号を**すべて選んで**〇をつけてください。）

1 LINE（ライン）	2 Twitter（ツイッター）
3 Instagram（インスタグラム）	4 YouTube（ユーチューブ）
5 Facebook（フェイスブック）	6 TikToK（ティックトック）
7 アプリは使っていない	

【健康・福祉の分野】

（9）あなたは、体調が悪くなったり、気がかりになったりした際に、身近に相談できる「かかりつけ医」がいますか。（番号を**1つ選んで**〇をつけてください。）

1 いる	2 いない

（10）あなたは認知症についてどのようなイメージを持っていますか。あなたのイメージにもっとも近いものを選んでください。（番号を**1つ選んで**〇をつけてください。）

1 認知症は一部の特別な人がかかる病気だ
2 認知症は誰もがなる可能性がある病気だ
3 認知症にはどんな人がなるのかよくわからない

（11）もし、あなたやあなたの家族が認知症になったら、そのことを近所の人に伝えますか。（番号を**1つ選んで**〇をつけてください。）

1 伝えて見守りや声掛けなどの協力をお願いしたい
2 伝えるが、特に何かをお願いしたりはしない
3 あえて伝える必要性を感じない
4 あまり知られたくないので伝えない
5 わからない

（12）あなたは、いざというとき（医療や介護が必要になった時、人生の終末期になった時など）「誰に」「どのように」対応してもらうか考え、誰かに伝えていますか。（番号を**1つ選んで**○をつけてください。）

1 考えて伝えている
2 考えているが、伝えていない
3 考えていない
4 どうすればよいかわからない
5 今は考えられない

【歴史・文化の分野】

（13）あなたは、吉野町の歴史や文化財に興味・関心がありますか。（番号を**1つ選んで**○をつけてください。）

1 とてもある	2 まあまあある
3 あまりない	4 ない

（14）あなたは、吉野町に歴史資料館があることを知っていますか。（番号を**1つ選んで**○をつけてください。）

1 知っている	2 知らない

（15）あなたは、吉野町の歴史や文化財について**学ぶ**ことができる講演会などの回数についてどのように感じますか。（番号を**1つ選んで**○をつけてください。）

1 もっとするべきだ	2 もう少し多い方がよい	3 適当だ
4 少ない	5 しなくてよい	6 していることを知らない

（16）あなたは、吉野町の歴史や文化財を**楽しむ**ことができるイベント（歴史体験・コンサートなど）の回数についてどのように感じますか。（番号を**1つ選んで**○をつけてください。）

1 もっとするべきだ	2 もう少し多い方がよい	3 適当だ
4 少ない	5 しなくてよい	6 していることを知らない

（17）あなたは、地域の歴史や文化について誇りを持っており、自分たちの住む地域に愛着がありますか。（番号を**1つ選んで**○をつけてください。）

1 とてもある	2 ある
3 あまりない	4 まったくない

（18）あなたは「吉野の造林技術」や「天然の森」、「柿の葉寿司」など人々の暮らしとこころの文化が、平成 28 年 4 月に日本遺産として登録されたことを知っていますか。（番号を**1つ選んで**○をつけてください。）

1 よく知っている	2 知っている
3 あまり知らない	4 知らない

今後、吉野町がめざすべき将来像やまちづくりのあり方などについて、ご意見がありましたら自由にご記入ください。吉野町のまちづくりに対する貴重なご意見として参考にさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。

本調査票は、**9 月 27 日（金）**までに同封の返信用封筒に入れ、

切手をはらずにご投函くださいますようよろしくお願いします。